USA's primary source for projector lamps

myprojectorlamps

プロジェクター所有者の取扱説明書

BenQ

W1100

このプロジェクターの交換用ランプが必要ですか？

www.mplamps.co.jp

メーカーオリジナル取扱説明書。MyProjectorLamps.comの厚意として、修正せずに提供しています。
すべての商標は、それぞれの所有者の所有物です。

BenQ

W1100/W1200

デジタルプロジェクタ
取扱説明

ようこそ

目次

安全上のご注意 3

紹介 7

プロジェクタの特長 7
パッケージ内容 8
プロジェクタ外観ビュー 9
制御装置および機能 10

設置 15

場所の選択 15
スクリーンサイズの調整 16

接続 19

ビデオ機器との接続 21

操作 22

プロジェクタの起動 22
投写イメージの調整 23
メニューの使用方法 25
プロジェクターを固定する 26
入力信号の切り替え 28
詳細の拡大と検索 29
縦横比の選択 29
画像の最適化 31
画像を隠す 35
スリープタイマの設定 36
画像の静止 36
高地での操作 36
音声の調節 37
複数の画像ソースを同時に表示する 38
プロジェクタのメニューディスプレイのカスタマイズ 39
プロジェクタの終了 40
メニューの操作 41

メンテナンス 50

プロジェクタのお手入れ 50
ランプについて 51

トラブルシューティング 57

仕様 58

外形寸法 59
天井取付 59
タイミングチャート 60

保証と著作権について 63

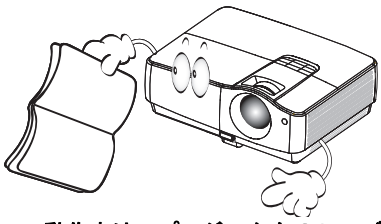
法規 64

安全上のご注意

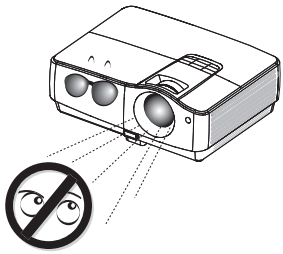
お使いのプロジェクタは、情報テクノロジ機器の最新の安全規格に適合するように設計され、テストされています。ただし、本装置を安全にご使用いただくために、このガイドおよび装置のマークに記載されている指示に従ってください。

安全上のご注意

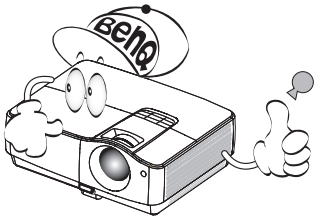
1. **ロジェクタを操作する前に、このユーザーズガイドをお読みください。**またいつでも参照できるように、手の届く場所に保管しておいてください。



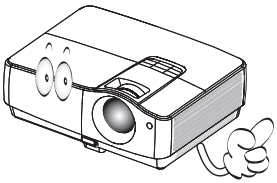
2. **動作中は、プロジェクタのレンズを覗き込まないでください。**光線が強力なので、視力障害を引き起こす恐れがあります。



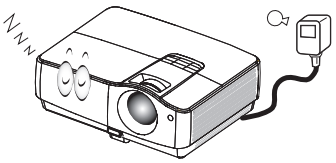
3. **点検修理については、認定サービス担当者にお問い合わせください。**



4. **プロジェクタのランプをオンにするときは、必ずレンズシャッターを開くか、レンズキャップを取り外してください。**



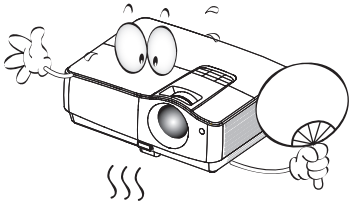
5. 国によっては、電源電圧が一定していない場合もあります。プロジェクタは、電源が AC100 ～ 240V の電圧範囲のときに安全に作動するように設計されていますが、停電や ±10V のサージが発生すると故障する可能性があります。**電源の電圧が変動したり、電源供給が中断したりする地域では、電源安定器、サージプロテクタ、または無停電電源装置（UPS）にプロジェクタを接続することをお薦めします。**



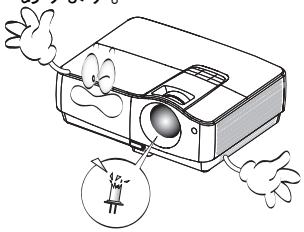
6. プロジェクタが作動しているときに投写レンズを物体で塞ぐと、それが過熱して変形したり、火災の原因となったりします。一時的にランプをオフにするには、プロジェクタかリモコンの BLANK ボタンを押してください。

安全上のご注意（続き）

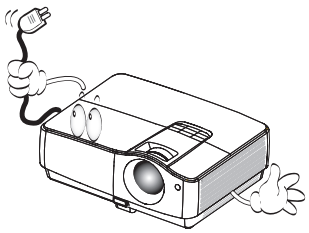
7. ランプは、動作中に非常に高温になります。ランプ部を取り外して交換する場合は、プロジェクタの電源を切ってから 45 分間ほど放置して、プロジェクタを常温に戻してください。



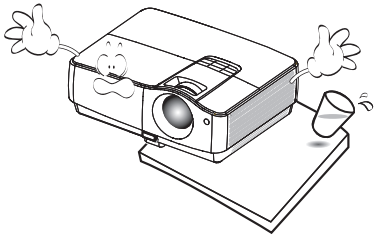
8. ランプは定格寿命より長く使用しないでください。ごくまれですが、定格寿命より長く使用すると、ランプが破裂することがあります。



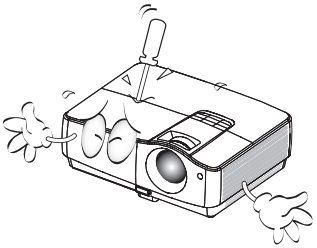
9. ランプ部や電子部品の交換は、必ずプロジェクタの電源プラグを抜いてから行ってください。



10. 本製品は安定した場所に設置してください。本製品が落下して、重大な損傷を受ける恐れがあります。



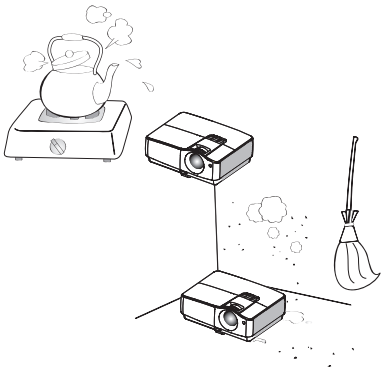
11. 本装置のキャビネットは開けないでください。内部には危険な電圧が流れており、触れると死に至る場合もあります。ユーザーが補修できる部分は専用の取り外し可能なカバーが付いているランプだけです。
いかなる状況においても、これ以外のカバーをご自身で取り外そうとしないでください。補修については、指定された専門の技術者にお尋ねください。



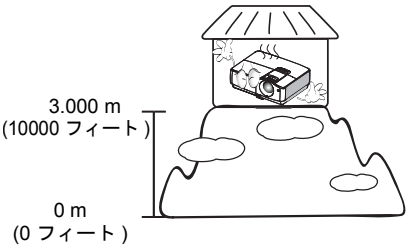
12. プロジェクタが稼動しているときには、通気孔から熱風と臭気を感じる場合があります。これは正常な状態であり、製品の欠陥によるものではありません。

安全上のご注意（続き）

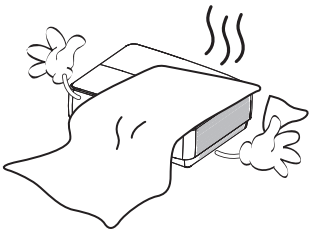
13. 次の場所に本装置を置かないでください。
    - 通気が不十分な場所または密閉されている場所。壁との間隔を 50cm 以上空けて、プロジェクタの周辺の風通しをよくしてください。
    - 窓を締め切った車内など、非常に高温になる場所。
    - 非常に湿度が高い場所、ほこりの多い場所、タバコの煙にさらされる場所。このような場所に置くと、光学部品が汚れ、プロジェクタの寿命が短くなり、画像が暗くなります。



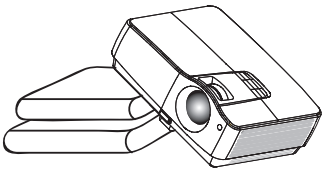
    - 火災報知器に近い場所。
    - 周辺温度が 35ºC を超える場所。
    - 高度が 3000 メートル (10000 フィート) を超える場所



14. 通気孔をふさがないでください。
    - 本製品を毛布などの寝具類、または他の柔らかい物の上に置かないでください。
    - 本製品の上に布などをかぶせないでください。
    - プロジェクタの近くに可燃物を置かないでください。

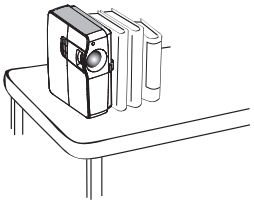


    通気孔がふさがれると、プロジェクタの内部が過熱し、火災が発生することがあります。
15. 使用時は必ず装置を水平な平面上に置いてください。
    - 左右の傾きが 10º、または前後の傾きが 15º を超える状態で使用しないでください。完全に水平になっていない状態でプロジェクタを使用すると、ランプが故障したり破損したりすることがあります。

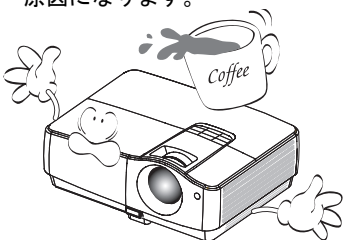


安全上のご注意（続き）

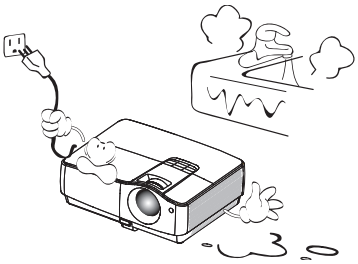
16. 装置を縦向きにしないでください。縦向きにするとプロジェクタが倒れ、けがをしたり、プロジェクタが破損したりする恐れがあります。



17. 装置の上に乗ったり、物を置かないでください。装置が物理的に損傷するだけでなく、事故やけがの原因になります。

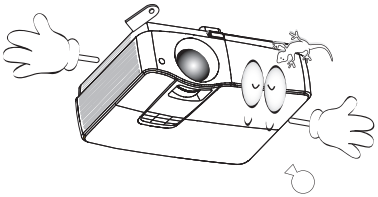


18. プロジェクタの上または近くに液体を置かないでください。プロジェクタ内部に液体がこぼれると故障の原因になります。プロジェクタを濡らした場合は、電源コンセントからプロジェクタを外し、BenQ にご連絡の上プロジェクタの点検をご依頼ください。



19. 本製品を天井に取り付けて、イメージを反転投写することができます。

⚠ **天井に取り付ける場合は、BenQ の天井取り付けキットを使用し、しっかりと固定してください。**



紹介

プロジェクタの特長

このプロジェクタは高性能な光学エンジン投写技術とユーザーフレンドリーな設計を統合しており、高い信頼性と使いやすさを実現しています。

プロジェクタには次のような特長があります。

- 10W x 2 大型スピーカー
- SRS WOW HD^{TM} はオーディオの再生品質を大幅に向上し、深い、豊かな低音と高い周波数の細部にまでくっきりした音で、ダイナミックな 3D エンタテインメント環境をお届けしています。



- デュアル HDMI 入力
- HDCP 互換
- 直ちに信号検出ができるクイック自動検索機能
- パスワード保護機能の選択
- 3D カラーマネージメントにより色を自在に調整
- 最善の画質で表示するワンキー自動調整機能
- 画像の歪みを補正するデジタルキーストーン補正
- データ / ビデオ表示を調整可能なカラーバランスコントロール
- 高輝度投射ランプ
- 言語を選択できるオンスクリーンディスプレイ (OSD) メニュー
- コンポーネント HDTV との互換性 （YPbPr）

☞ **• 投写イメージの明るさは、周辺光の状態および選択した入力信号のコントラスト / 輝度設定によって変わります。また投写距離の影響を直接受けます。**

• ランプの明度は時間の経過に伴い暗くなります。また明度はランプ製造元の仕様によって異なります。これは異常ではなく、正常で予期される変化です。

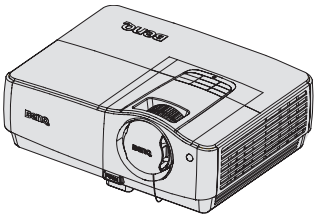
パッケージ内容

丁寧に開梱し、次に示すものがすべて揃っていることを確認してください。不足しているものがある場合は、お買い上げの販売店にご連絡ください。

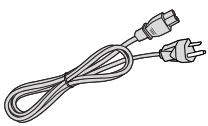
標準アクセサリ

同梱のアクセサリ類は日本仕様のものであり、本書の図とは異なる場合があります。

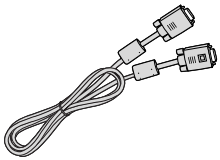
*** 保証カードは特定地域でしか提供されません。詳細は、本製品を購入された販売店へお問い合わせください。**



プロジェクタ



電源コード



VGA ケーブル



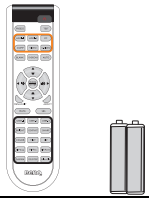
クイックスタートガイド



取扱説明書 CD



保証書 *



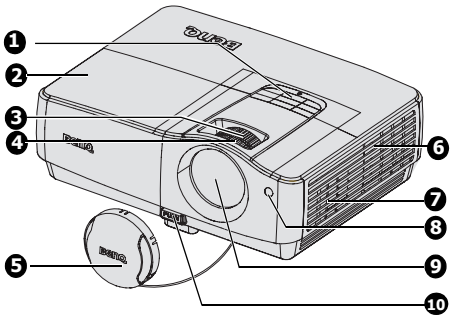
リモコン（電池付き）

別売りアクセサリ

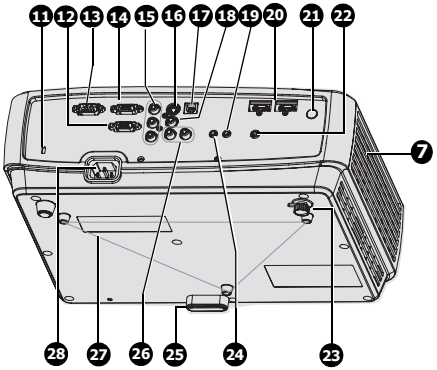
1. スペアランプキット
2. 天井取り付けキット
3. ソフトキャリーケース
4. RS232 ケーブル

プロジェクタ外観ビュー

正面 / 上面



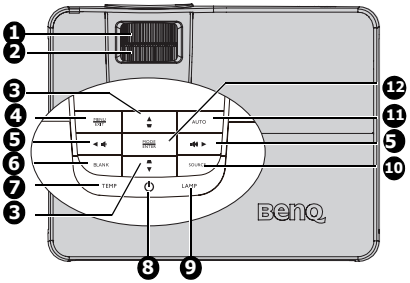
背面 / 底面



1. 外部コントロールパネル（詳細は、10 ページの「プロジェクタ」を参照してください。）
2. ランプカバー
3. ズームリング
4. ピントリング
5. レンズカバー
6. 通気孔
7. スピーカー
8. 前部 IR リモートセンサー
9. プロジェクションレンズ
10. クイックリリースボタン
11. 盗難防止用ケンジントンロックスロット
12. RGB (PC)/ コンポーネントビデオ (YPbPr/ YCbCr) 信号入力ジャック
13. RS-232 コントロールポート
14. RGB 信号出力ジャック
15. コンポーネントの入力ジャック
16. S- ビデオ入力ジャック
17. USB 入力ジャック
18. ビデオ入力ジャック
19. オーディオ出力ジャック
20. HDMI 入力ジャック
21. 背面赤外線リモートセンサ
22. 遮電壁や調光などの外部デバイスの始動に使用される 12V DC 出力端子。これらのデバイスの接続方法については、販売店にお尋ねください。
23. 背面アジャスタフット
24. オーディオ入力ジャック
25. クイックリリース フット
26. オーディオ（L/R）入力ジャック
27. 天井取付穴
28. AC 電源コード差込口

制御装置および機能

プロジェクタ

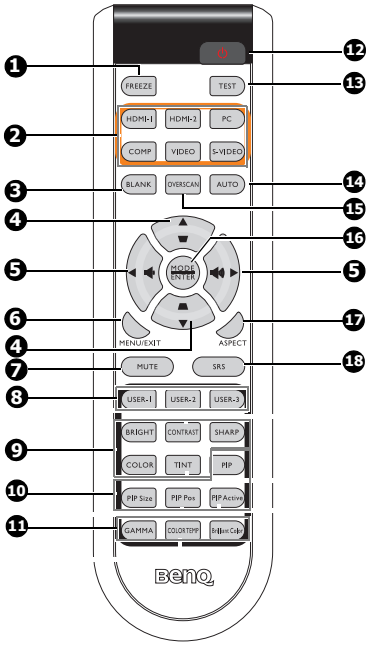


1. **ピントリング**
   投写イメージの焦点を調整します。詳細は、24 ページの「画像サイズと明瞭さの微調整」を参照してください。
2. **ズームリング**
   画像のサイズを調整します。詳細は、24 ページの「画像サイズと明瞭さの微調整」を参照してください。
3. **キーストーン (台形補正)/ 矢印キー (▄ /▲上 , ▀ /▼ 下)**
   投写角度によって生じる画像の歪みを手動で修正します。詳細は、24 ページの「キーストーンの補正」を参照してください。)
4. MENU/EXIT
   オン スクリーン ディスプレイ (OSD) メニューをオンにします。前のオンスクリーンメニューに戻り、メニューを終了して設定を保存します。
5. **音量 / 矢印キー (🔈/◀ 左、🔊/▶ 右)**
   音声レベルを調節
   オンスクリーンディスプレイ（OSD）メニューが起動中は、#3、#5 キーは方向矢印として、ご希望のメニュー項目の選択や調整を行う際に使用できます。詳細は、25 ページの「メニューの使用方法」を参照してください。
6. BLANK
   スクリーン画像を隠すために使用します。詳細は、35 ページの「画像を隠す」を参照してください。
7. TEMP (**温度インジケータ ライト**)
   プロジェクタの温度が異常に高くなると赤く点灯します。詳細は、詳細は、56 ページの「インジケータ」を参照してください。}
8. ⏻ Power (**電源**)/POWER (**電源インジケータ ライト**)
   スタンバイモードと電源オンの状態を切り替えます。詳細については、22 ページの「プロジェクタの起動」と 40 ページの「プロジェクタの終了」を参照してください。
   プロジェクタ動作中に点灯または点滅します。詳細は、56 ページの「インジケータ」を参照してください。)
9. LAMP (**ランプインジケータ ライト**)
   ランプの状態を表示します。ランプに問題が発生すると、点灯または点滅します。詳細は、56 ページの「インジケータ」を参照してください。}
10. **メ [ス**
    ソース選択バーを表示します。詳細は、28 ページの「入力信号の切り替え」を参照してください。)
11. AUTO
    表示された画像における最適の画像タイミングを自動的に決定します。詳細は、23 ページの「イメージの自動調整」を参照してください。
12. MODE/ENTER
    有効な画像設定モードを選択します。詳細は、31 ページの「ピクチャ モードの選択」を参照してください。)
    選択したオンスクリーンディスプレイ (OSD) メニュー項目を有効化します。詳細は、25 ページの「メニューの使用方法」を参照してください。

⚠ プロジェクタの天井取り付け

BenQ プロジェクタを安心してお使いいただくために、ここに記載する注意をよくお読みになり指示にしたがってください。
プロジェクタを天井に取り付ける場合は、BenQ プロジェクタ専用天井取り付けキットをお使いになり、しっかりと確実に設置してください。
BenQ プロジェクタ以外の天井取り付けキットをお使いになると、ゲージやネジの長さが正確でないためプロジェクタが正しく固定されず落下してしまう恐れがあります。
BenQ プロジェクタ専用天井取り付けキットは、BenQ プロジェクタを購入された販売店でお買い求めいただけます。また別途ケンジントンロックをお求めになり、プロジェクタのケンジントンロックスロットと天井取り付けブラケットのベースをセキュリティケーブルでしっかりと繋いでおくことをお薦めします。このようにしておくと、万一天井取り付けブラケットが緩んでしまった場合にも、プロジェクタを補助的に支えることができます。

リモートコントロール



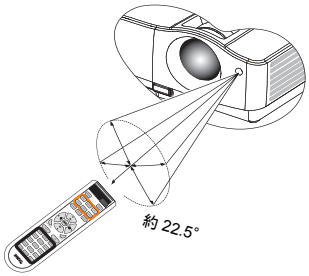
1. **一時停止**
   投写画像を一時停止します。詳細は、36 ページの「画像の静止」を参照してください。
2. **ソース選択キー（HDMI-1、HDMI-2、PC、COMP、VIDEO、S ビデオ）**
   表示用の入力ソースを選択します。詳細は、28 ページの「入力信号の切り替え」を参照してください。）
3. **BLANK**
   スクリーン画像を隠すために使用します。詳細は、35 ページの「画像を隠す」を参照してください。
4. **キーストーン / 矢印キー (/ ▲上、 / ▼ 下)**
   投写角度によって生じる画像の歪みを手動で修正します。詳細は、24 ページの「キーストーンの補正」を参照してください。）
5. **音量 / 矢印キー (/ ◀ 左、 / ▶ 右)**
   音声レベルを調節 詳細は、37 ページの「音声の調節」を参照してください。
   オンスクリーンディスプレイ（OSD）メニューが起動中は、#4、#5 キーは方向矢印として、ご希望のメニュー項目の選択や調整を行う際に使用できます。詳細は、25 ページの「メニューの使用方法」を参照してください。
6. **MENU/EXIT**
   オン スクリーン ディスプレイ (OSD) メニューをオンにします。前のオンスクリーンメニューに戻り、メニューを終了して設定を保存します。詳細は、25 ページの「メニューの使用方法」を参照してください。
7. **ミュート**
   内蔵スピーカーをミュートにします。
8. **ユーザー 1/ ユーザー 2/ ユーザー 3**
   ユーザーメモリ設定を選択します。詳細は、31 ページの「ユーザー設定 1 / ユーザー設定 2/ ユーザー設定 3 モードの設定」を参照してください。
9. **基本画質調整キー（輝度、コントラスト、シャープ、色、色調）**
   適切な画質値を調整するための設定バーを表示します。詳細は、32 ページの「画質の微調整」を参照してください。
10. **写真ウィンドウのコントロールキー（PIP、PIP サイズ、PIP 位置、PIP 有効）**
    ピクチャインピクチャ (PIP) ウィンドウを表示し、PIP 有効でメインウィンドウとサブウィンドウを切り替え、PIP サイズと PIP 位置で現在有効になっているウィンドウのサイズと位置を調整します。詳細は、38 ページの「複数の画像ソースを同時に表示する」を参照してください。

11. **詳細な画質調整キー（ガンマ、色温度、Brilliant Color）**
適切な画質値を調整するための設定バーを表示します。詳細は、32 ページの「詳細な画質コントロール」を参照してください。）
12. Power (**電源**)
スタンバイモードと電源オンの状態を切り替えます。詳細については、22 ページの「プロジェクタの起動」と 40 ページの「プロジェクタの終了」を参照してください。
13. TEST
テストパターンを表示します。
14. AUTO
表示画像に最適なピクチャタイミングを自動的に決定します。詳細は、23 ページの「イメージの自動調整」を参照してください。
15. **オーバースキャン**
オーバースキャン設定バーを表示します。
16. MODE/ENTER
使用可能な画像設定モードを選択します。
詳細は、31 ページの「ピクチャ モードの選択」を参照してください。
選択したオンスクリーンディスプレイ (OSD) メニュー項目を有効化します。
(OSD) メニュー項目を表示します。詳細は、25 ページの「メニューの使用方法」を参照してください。
17. **アスペクト**
表示縦横比を選択します。詳細は、29 ページの「縦横比の選択」を参照してください。
18. SRS
SRS（サウンド検索システム）サラウンドサウンド効果のオン / オフを切り替えます。

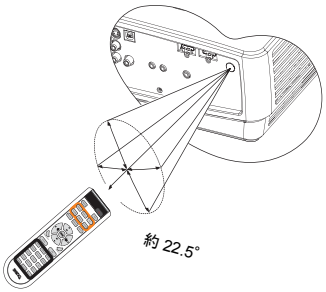
赤外線 (IR) リモコンセンサは、プロジェクタの正面にあります。リモコンを正しく機能させるには、プロジェクタの IR リモコンセンサに対して 22.5 度以内でリモコンを使用する必要があります。リモコンとセンサの間の距離が 8 メートル (26 フィート) を超えないようにしてください。

リモコンとプロジェクタの間に赤外線を遮断する障害物がないかどうかを確認します。

- **正面からの操作**

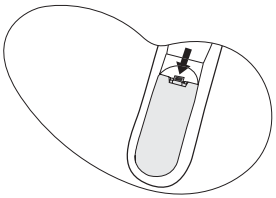


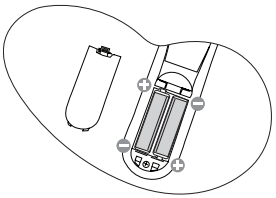
- **背面からの操作**



リモコンの電池交換

1. バッテリカバーを開くには、リモコンを裏返してカバーの溝を押し、図のように矢印の方向にスライドさせてください。するとカバーが外れます。
2. 中の電池を取り出し（電池がある場合）、電池取付部の底に記された極性に注意しながら、単 3 電池 2 個を挿入してください。プラス極 (+) はプラスに、マイナス極 (-) はマイナスの方向に挿入してください。
3. カバーをまっすぐにスライドさせて元の状態に戻します。カチッという音がするまで完全にスライドさせます。





- **高温および高湿度を避けてください。**
- **電池を間違った方向に挿入すると、電池が破損する場合があります。**
- **使用済みの電池は、同じタイプの電池か、メーカーが推奨する同等タイプの電池と交換してください。**
- **使用済みの電池は電池メーカーの指示に従って処理してください。**
- **電池は絶対に火に投げ込まないでください。爆発する恐れがあり大変危険です。**
- **電池が消耗したり、長時間リモコンを使用しない場合は、液体が漏れないようにリモコンから電池を外してください。**

設置

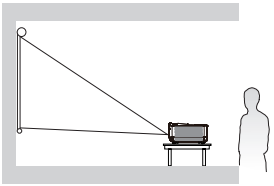
場所の選択

部屋のレイアウトやお好みで、どの設定で設置するか決めてください。設置する際は、スクリーンのサイズや位置、電源コンセントがある場所、プロジェクタとその他の装置の距離や位置などを考慮してください。

本機は次の 4 通りの設置状態で使うことができます。

1. 前面投写

プロジェクタをスクリーンの正面に床面近くに設置します。これが最も一般的な設定です。

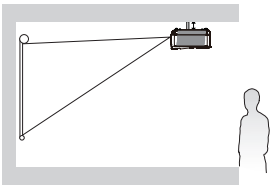


2. 天井前面投写

プロジェクタを上下逆さにスクリーン正面の天井に取り付けます。

この方法で設置する場合は、BenQ プロジェクタ天井取り付けキットをご購入ください。

プロジェクタの電源を入れてから、**天井前面投写 システム設定**メニューで > **プロジェクタの投写位置**を設定してください。

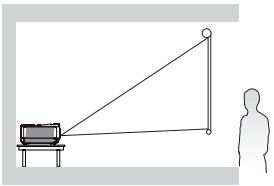


3. リア投写

プロジェクタをスクリーンの背後に床面近くに設置します。

専用の背面スクリーン投写が必要です。

プロジェクタの電源を入れてから、**リア投写 システム設定**メニューで > **プロジェクタの投写位置**を設定してください。

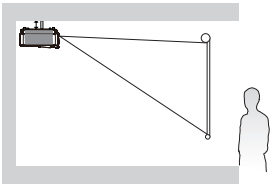


4. 天井リア投写

プロジェクタを上下逆さにスクリーン背後の天井に取り付けます。

専用の背面投写スクリーンと BenQ プロジェクタ天井取り付けキットが必要です。

プロジェクタの電源を入れてから、**天井リア投写 システム設定**メニューで > **プロジェクタの投写位置**を設定してください。

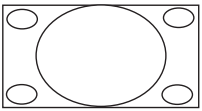


室内のレイアウトまたは個人の好みにより配置場所を決定します。設置する際は、スクリーンのサイズや位置、電源コンセントがある場所、プロジェクタとその他の装置の距離や位置などを考慮してください。

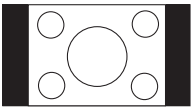
スクリーンサイズの調整

投写距離、ズーム設定 (可能な場合)、ビデオフォーマットにより投写画面サイズは変化します。

このプロジェクタの本来の縦横比は 16:9 です。



縦横比 4:3 の表示エリアに投写した縦横比 16:9 の画像



縦横比 4:3 の表示エリアにリサイズして投写した縦横比 16:9 の画像

プロジェクタは必ず机の上などに水平に配置し、スクリーンの水平方向の中央に対して直角になるように設置してください。このように設置することによって、角度を付けて投写（または角度が付いた面に投写する場合）すると生じる画像の歪みを防止することができます。

プロジェクタを天井に取り付ける場合は、プロジェクタがやや下向きに角度を付けて投写するように上下逆さに取り付ける必要があります。

18 ページの図をご覧になるとお分かりいただけるように、このタイプの投写方法では投写画像の下端がプロジェクタの水平面から縦に傾いてしまいます。天井に取り付けた場合は、投写画像の上端がこのようになります。

プロジェクタをスクリーンから遠ざけると、投写イメージのサイズが拡大され、それに伴い縦のオフセットも広がります。

スクリーンとプロジェクタの距離を決定する際は、投写距離に直接比例する投写イメージのサイズと縦オフセットのサイズも考慮する必要があります。

プロジェクタを設置するための適度な距離については、スクリーンサイズの表をご参照ください。設置場所を決定するときには、スクリーン中央に対し直角の水平距離 (投写距離) と、スクリーンの上下端からのプロジェクタの縦オフセットの高さ (オフセット) の 2 つのサイズを考慮してください。

使用するスクリーンサイズに対しプロジェクタの設置場所を決定する

1. スクリーンサイズを選択します。
2. 18 ページの表を参照し、「投影寸法」のラベルのついた左のコラムからご使用のスクリーンのサイズに一番近いものを選びます。この値の列を右に見ていくと、「平均」とラベルの付いたコラムのスクリーン値からの相当する平均距離が記載されています。これが投写距離になります。
3. 同じ列を右に見ていくと、「垂直オフセット (mm)」値が記載されています。この値によって、スクリーンの端からの最終的な縦オフセット位置が決定されます。
4. プロジェクタはスクリーンの水平方向の中心に対して直角に、前のステップ 2 で決定したスクリーンからの距離に、さらにステップ で決定したオフセット値で設置するよう推奨します。

例えば、120 インチのスクリーンをご使用の場合、投影距離の平均は 4710 mm で、垂直オフセットは 513 mm です。

設置する距離に対し推奨するスクリーンサイズを決定する

これは、プロジェクタを設置する部屋に合ったスクリーンサイズを求めるための方法です。

最大スクリーンサイズは、使用する部屋の実際のスペースが上限となります。

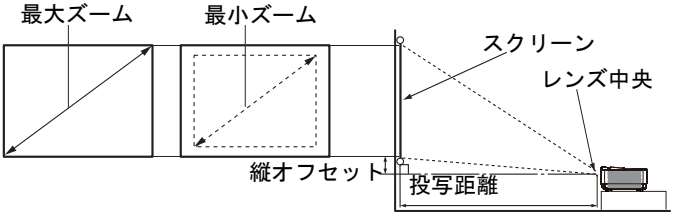
1. プロジェクタとスクリーンを設置したい場所までの距離を測ってください。これが投写距離になります。
2. 18 ページの表を参照し、「平均」のラベルのついた左のコラムからご使用のスクリーンのサイズに一番近いものを選びます。測定した距離が、平均距離値の横に記載されている最小および最大距離の間に当てはまっていることを確認してください。
3. この値と同じ列を左へ見ていくと、相当する「投影寸法」を見つけることができます。これが投写距離からの投写画像サイズになります。
4. 同じ列を右に見ていくと、「垂直オフセット (mm)」値が記載されています。この値によって、プロジェクタの水平面を基にした最終的なスクリーン設置場所が決定されます。

例えば、測定した投影距離が 4.0 m(4000 mm) だった場合、「平均」コラムで一番近いのは 3920 mm です。この列を見ると、100 インチのスクリーンが必要なことがわかります。

プロジェクタを別の場所に移動させると (推奨される範囲内で)、スクリーンの中央に画像が表示されるようにプロジェクタを上下に傾ける必要があります。そうすると、画像に歪みが生じる場合があります。この場合は、キーストーン機能を使用して歪みを補正します。詳細は、24 ページの「キーストーンの補正」を参照してください。)

投影寸法

適切な位置を計算する前に、59 ページの「外形寸法」を参照して、このプロジェクタのレンズサイズの中心を求めてください。



スクリーンタイプ				スクリーンからの距離 (mm)			垂直オフセット (mm)
対角線		幅 (mm)	高さ (mm)	最短距離	平均	最長距離	
インチ	mm			(最大ズーム)		(最小ズーム)	
30	762	664	374	890	1140	1390	128
40	1016	886	498	1210	1540	1870	171
50	1270	1107	623	1520	1935	2350	214
60	1524	1328	747	1830	2330	2830	256
80	2032	1771	996	2460	3125	3790	342
100	2540	2214	1245	3090	3920	4750	427
120	3048	2657	1494	3720	4710	5700	513
150	3810	3321	1868	4660	5900	7140	641
200	5080	4428	2491	6240	7890	9540	854
220	5588	4870	2740	6870	8685	10500	940
250	6350	5535	3113	7810	9875	11940	1068
300	7620	6641	3736	9380	11855	14330	1282

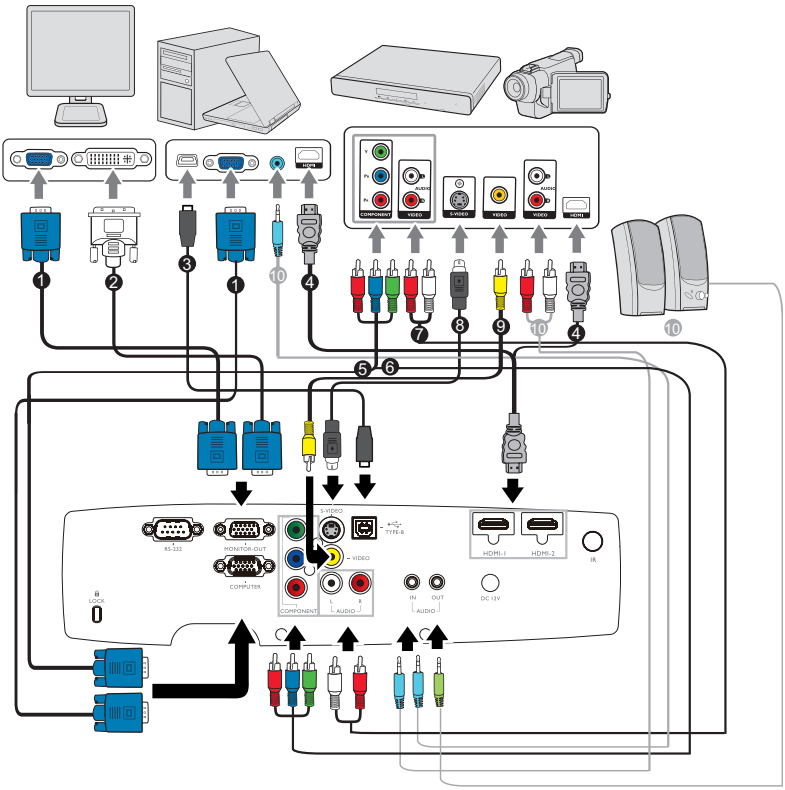
光学部品の偏差のため、これらの数字には 3% の公差があります。プロジェクタを一定場所に固定するご予定の場合は、あらかじめ実際にプロジェクタを使って投写サイズと距離を物理的にテストしておくことをお薦めします。そうすることで、本プロジェクタの光学的特性を考慮に入れて最適な位置に設置することができます。このように準備しておくことによって、プロジェクタを最適な位置に固定することができます。

接続

信号ソースをプロジェクタに接続する際には、次の点を確認してください。

1. 接続を行う前にすべての機器の電源をオフにします。
2. 各ソースに正しい信号ケーブルを使用します。
3. ケーブルがしっかり差し込まれていることを確認します。

• **下に示す接続図では、プロジェクタにケーブルは接続されていません (詳細は、8 ページの「パッケージ内容」を参照してください。)。ケーブルはお近くの電気店でお求めください。**



1. VGA ケーブル
2. VGA-to-DVI-A ケーブル
3. USB ケーブル
4. HDMI ケーブル
5. コンポーネントビデオ－ VGA (D-Sub) アダプタケーブル
6. コンポーネントビデオケーブル
7. オーディオ L/R ケーブル
8. S-Video ケーブル
9. ビデオケーブル
10. オーディオケーブル

- 多くのノートブックでは、プロジェクタを接続すると外付けビデオポートはオンになりません。通常は「FN」+「F3」や CRT/LCD の組み合わせによって、外付けディスプレイをオン / オフにすることができます。CRT/LCD 機能キーまたは、ノートブック上でモニタ記号が示された機能キーの場所を確認します。「FN」とその機能キーを同時に押します。ノートブックのキーの組み合わせについては、ノートブックの説明書をお読みください。

- MONITOR OUT(モニタ出力) ジャックの出力信号は、コンピュータジャックから入力信号が送られている場合に限り機能します。プロジェクターの電源がオンの際は、MONITOR OUT(モニタ出力) ジャックからの出力信号は、コンピュータジャックからの入力信号により異なります。

- プロジェクタがスタンバイモードになっているときに「モニタ出力」接続方式を使用するには、システム設定 メニューでモニタ出力機能がオンになっていることを確認してください。詳細は、48 ページの「スタンバイ設定」を参照してください。）

ビデオ機器との接続

上記のいずれかの方法でプロジェクタとビデオソース装置を接続してください。ただし、方法によってビデオ品質が異なります。接続方法は、プロジェクタとビデオソース装置の両方に搭載されている端末に合ったものを選択してください。

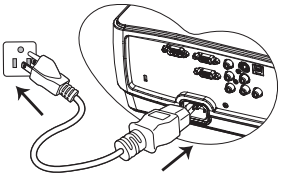
端末名	端末形状	画質
HDMI	HDMI 	最高
コンポーネントビデオ	コンポーネント 	比較的良い
S-Video	S ビデオ 	良い
ビデオ	ビデオ 	ノーマル

- **正しいビデオソースが選択されているにもかかわらず、電源をオンにしても選択したビデオイメージが表示されない場合は、ビデオソースの電源がオンになっていて正しく動作していることを確認してください。また信号ケーブルが正しく接続されていることを確認します。**
- **プロジェクターの HDMI 入力によってプロジェクターを DVD プレーヤーに接続した際に、画像の色が正しく投影されない場合が稀にあります。その際は、色域を YUV に変更してください。詳細は、28 ページの「カラースペースの変更」を参照してください。）**
- **HDMI 信号の正しい入力ソースタイプを選択していることを確認するには、46 ページの「HDMI 設定」で詳細を参照してください。**

操作

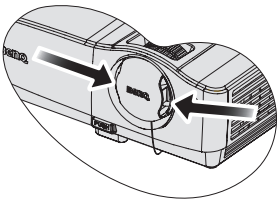
プロジェクタの起動

1. 電源コードをプロジェクターおよびコンセントに差込みます。コンセントのスイッチをオンにします。(当てはまる場合) 電源を入れると、POWER (**電源インジケータ ライト**) が赤になります。

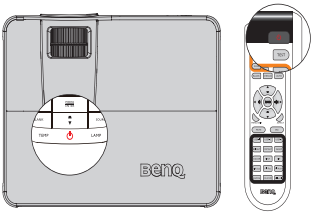


- **感電や火災の危険を避けるため、機器には付属のアクセサリ (例 : 電源ケーブル) のみを使用してください。**
- システム設定 > 操作設定**メニューで機能のダイレクトオン機能が有効になっている場合、電源コードを接続し電源が適用された後にプロジェクタの電源が自動的にオンになります。**

2. レンズ キャップを取り外します。キャップを付けたままにしておくと、プロジェクタのランプから発生する熱によりキャップが変形してしまいます。



3. プロジェクタかリモコンの ⏻ Power (電源) を押します。POWER (**電源インジケータ ライト**) が点滅し、電源がオンになると緑色ライトが点灯します。
起動処理には約 30 秒かかります。起動処理の後半で、スタートアップロゴが表示されます。
必要であれば、ピントリングを使って画像の鮮明さを調整してください。



プロジェクタが前回使用したときから完全に冷め切っていない場合は、約 90 秒間冷却ファンが作動します。

4. プロジェクターを始めて起動する場合、オンスクリーン指示に続き OSD 言語を選択してください。
5. パスワードの入力を求められた場合は、矢印キーを使って 6 桁のパスワードを入力してください。詳細は、26 ページの「パスワード機能の使い方」を参照してください。
6. 接続されているすべての機器の電源をオンにします。
7. プロジェクタは入力信号の検索を開始します。スキャンされている入力信号がスクリーンに表示されます。プロジェクタが



有効な信号を検出しない場合は、入力信号が検出されるまで 「信号なし」のメッセージが表示され続けます。

プロジェクタの SOURCE またはリモコンの**ソース選択キー**を押して表示する入力信号を選択することもできます。詳細は、28 ページの「入力信号の切り替え」を参照してください。

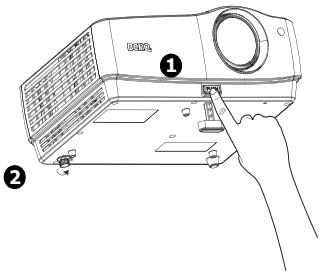
入力信号の周波数 / 解像度がプロジェクタの動作範囲を超えた場合、「対応範囲外」というメッセージが消画スクリーンに表示されます。プロジェクタの解像度に合った入力信号に変えるか、入力信号を低い値に設定し直してください。詳細は、60 ページの「タイミングチャート」を参照してください。

投写イメージの調整

投写角度の調整

プロジェクタには、クイックリリースアジャスタフットが 1 つ、背面アジャスタフットが 1 つ備え付けられています。これらのアジャスタを使って、イメージの高さと投写角度を調整します。プロジェクタを調整するには、次の手順にしたがってください。

1. クイックリリースボタンを押し、プロジェクターの前部を持ち上げます。画像が正しく表示されたら、クリックリリースボタンを放してフットを固定します。
2. 後部調節脚部をまわし、水平角度を微調整します。



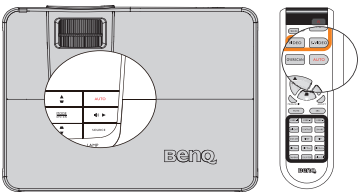
フットを縮めるには、クイックリリース ボタンを押しながらプロジェクタを持ち上げて、ゆっくりとプロジェクタを下ろします。背面アジャスタフットを逆方向に回します。

プロジェクタが床に対して水平な場所に設置されていない場合、またはスクリーンとプロジェクタが垂直に設置されていない場合は、投写画像が台形になります。。このような問題を補正する方法については、29 ページの「詳細の拡大と検索」を参照してください。

- **ランプが点灯しているときには絶対にレンズを覗かないでください。ランプからは強い光が発されており、目を傷つける場合があります。**
- **アジャスタボタンは熱風が出る排気孔の近くにありますので、このボタンを押すときには注意してください。**

イメージの自動調整

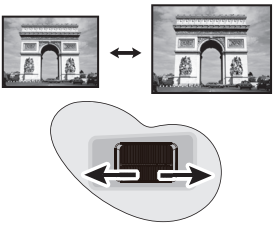
場合によっては、画質を最適化する必要が生じることもあります。これを実行するには、プロジェクタかリモコンの AUTO を押します。組み込みのインテリジェント自動調整機能により周波数およびクロックの値が再調整され、3 秒以内に最適な画質が得られます。



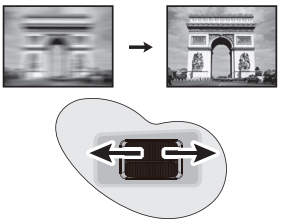
- **AUTO が機能している間、スクリーンは消画の状態になります。**
- **この機能は ＰＣ 信号 (アナログ RGB) が選択されている場合にしか使用できません。**

画像サイズと明瞭さの微調整

1. 必要なサイズに合わせ、投影された画像をズームリングを使用して調整します。



2. 次にピントリングを回して焦点を合わせます。



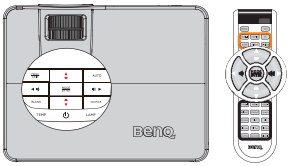
キーストーンの補正

キーストーンとは、投写画像の上辺または下辺のいずれかが明らかに長くなってしまう状態のことです。プロジェクタがスクリーンに対して垂直でない。

この問題を解消するには、プロジェクタの高さを調整する以外に、次のいずれかの方法によって手動で補正する必要があります。

- リモコンの使用方法

自動キーストーン機能がオフになっていることを確認してください。プロジェクタかリモコンで ▼/▲ を押して、キーストーン補正ページを表示します。▲ を押すと、画像の上辺のキーストーンが補正されます。▼ を押すと、イメージの下部のキーストーンが補正されます。



- OSD メニューの使用方法

1. MENU/EXIT を押して、◀ /▶ メニューが表示されるまで表示 を押してください。
2. ▼を押して台形補正を選択し、次に MODE/ENTER を押してください。
3. 自動台形補正をハイライトし、◀ /▶ を押して オフを選択し自動キーストーン機能を無効にします。



▲ /▼を押します。　▼/▲を押します。

4. ▼を押して台形補正をハイライトし、◀ /▶ で値を調整します。
5. イメージの上部に現れたキーストーンを補正する場合は ▲ を押し、イメージの下部に現れたキーストーンを補正する場合は ▼ を押します。

メニューの使用方法

このプロジェクタは、オンスクリーン メニューを備えており、各種の調整や設定が行えます。

以下に OSD メニューの概要を紹介します。

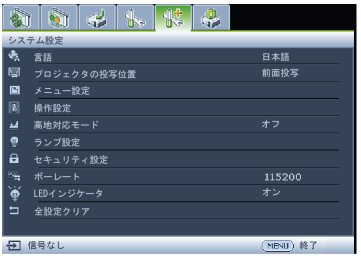


以下の例は OSD 言語の設定の仕方を表しています。

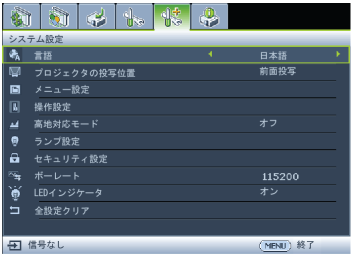
1. プロジェクターまたはリモコンの MENU/EXIT を押し、OSD メニューをオンにします。



2. ◀/▶を使用してシステム設定メニューを選択します。



3. ▼ を押して 言語を選択し、その後で ◀/▶ を押して言語を選択します。



4. プロジェクタかリモコンの MENU/EXIT を 2 回押して *、設定を保存し、終了します。

***1 回目にはメインメニューに戻り、2 回目に OSD メニューが閉じます。**

プロジェクターを固定する

セキュリティケーブルロックを使用する

プロジェクターは盗難されないよう安全な場所に設置してください。または、ケンジントンロックのようなロックを購入し、プロジェクターを固定してください。ケンジントンロックのスロットはプロジェクターの後部に位置しています。詳細は、9 ページの項目 11 を参照してください。

ケンジントンセキュリティケーブルロックは、通常キーとロックの組み合わせとなっています。使用方法についてはロックの付属書類を参照してください。

パスワード機能の使い方

セキュリティのため、および許可されていないユーザーがプロジェクタを勝手に使用できないように、このプロジェクタにはパスワードを設定することができます。パスワードはオン スクリーン ディスプレイ (OSD) メニューで設定します。

警告 : 電源オンロック機能を有効化した後にパスワードを忘れてしまうと大変不便です。(必要であれば) 本書を印刷し、設定したパスワードを本書に書き留めておき、安全な場所に保管しておいてください。

パスワードの設定

一度パスワードを設定すると、プロジェクタを起動するたびに正しいパスワードを入力しなければプロジェクタを使用することはできなくなります。

1. OSD メニューを開き、システム設定 > セキュリティ設定メニューを選択してください。MODE/ENTER を押します。
2. セキュリティ設定の変更をハイライトし、MODE/ENTER を押します。
3. 電源ロックをハイライトし、オンを押して ◀/▶ を選択します。
4. 右図に示す通り、4 つの矢印キー (▲、▶、▼、◀) はそれぞれ 4 つの数字 (1, 2, 3, 4) を示しています。設定したいパスワードのとおり、矢印キーを押して 6 桁のパスワードを入力します。
5. 新しいパスワードを再度入力して新しいパスワードを確認してください。
   パスワードが設定されると、OSD メニューはセキュリティ設定ページに戻ります。



重要 : 入力した数字は画面では星印で表示されます。本書の下の欄に設定したパスワードを書き留めておいてください。

パスワード : _ _ _ _ _ _

本書は安全な場所に保管しておいてください。

6. OSD メニューを終了するには、MENU/EXIT. を押します。

パスワードを忘れた場合

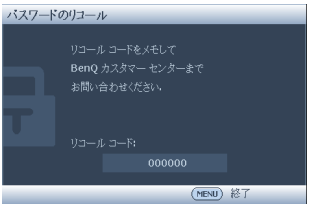
パスワード機能を有効にすると、プロジェクタをオンにするたびに 6 桁のパスワードを入力するよう要求されます。間違ったパスワードを入力すると、右図のようなパスワード エラーメッセージが 3 秒間表示され、次に ' パスワードの入力 ' とい



うメッセージが表示されます。別の 6 桁のパスワード上を押してもう一度やり直してください。またはパスワード忘れてしまい、さらに本書にパスワードを記録しておかなかった場合は、パスワードの呼び戻し手続きを行ってください。詳しくは 27 ページの「パスワードの呼び戻しを行うには」を参照してください。

パスワード入力を続けて 5 回間違えると、プロジェクタは間もなく自動的にシャットダウンします。

パスワードの呼び戻しを行うには



1. プロジェクタかリモコンの AUTO を 3 秒間押します。プロジェクターはスクリーンにコード化された数字を表示します。
2. 番号を書き留めて、プロジェクタをオフにしてください。
3. 番号をデコードするには、お近くの BenQ サービスセンターにお問い合わせください。お客様がこのプロジェクタを使用できる正当なユーザーであることを確認するために、購入を証明する文書の提示を求められる場合があります。

パスワードの変更

1. OSD メニューを開き、システム設定 > セキュリティ設定 > パスワードの変更メニューを選択してください。
2. MODE/ENTER を押します。' 現在のパスワード ' というメッセージが表示されます。
3. 古いパスワードを入力してください。
   - パスワードが正しければ、' 新しいパスワード ' というメッセージが表示されます。
   - パスワードが間違っていれば、パスワード エラーメッセージが 3 秒間表示され、' 現在のパスワード ' というメッセージが表示されますので、もう一度パスワードを正しく入力してください。変更内容をキャンセルするか、別のパスワードを入力するには、MENU/EXIT を押してください。
4. 新しいパスワードを入力します。

重要 : 入力した数字は画面では星印で表示されます。本書の下の欄に設定したパスワードを書き留めておいてください。

パスワード : ＿＿＿＿＿＿

本書は安全な場所に保管しておいてください。

5. 新しいパスワードを再度入力して新しいパスワードを確認してください。
6. プロジェクタに新しいパスワードが割り当てられました。次回プロジェクターを開始する際は、新しいパスワードを入力するようご注意ください。
7. OSD メニューを終了するには、MENU/EXIT. を押します。



パスワード機能を無効にする

パスワード機能を無効にするには、OSD メニューを開いた後でシステム設定 > セキュリティ設定 > セキュリティ設定の変更 > 電源ロックメニューに戻ってください。◀ /▶ を押してオフを選択してください。'パスワードの入力 ' というメッセージが表示されます。現在のパスワードを入力してください。

i. パスワードが正しい場合は、オンスクリーン メニューのセキュリティ設定 欄が 「オフ」と表示された状態の電源ロックページに戻ります。次回プロジェクタをオンにするときには、パスワードを入力する必要はありません。

ii. パスワードが間違っていれば、パスワード エラーメッセージが 3 秒間表示され、'パスワードの入力 ' というメッセージが表示されますので、もう一度パスワードを正しく入力してください。変更内容をキャンセルするか、別のパスワードを入力するには、MENU/EXIT を押してください。

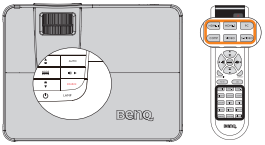
☞ **パスワード機能を無効にしても、再びパスワード機能を有効にするときに古いパスワードを入力するよう要求されますので、古いパスワードは忘れないように記録し保管しておいてください。**

入力信号の切り替え

プロジェクタは同時に複数の装置に接続することができます。ただし一度に表示できる装置は 1 台です。開始の際、プロジェクターは自動的に検出可能な信号を検索します。

プロジェクタに信号を自動検出させるには、クイック自動検索 (システム設定) メニューでソース 機能がオン (本製品のデフォルト値です) になっていることを確認してください。

入力信号は手動で切り替えることも可能です。



1. プロジェクタの SOURCE を押します。ソース選択バーが表示されます。
2. 任意の信号が選択されるまで ▲/▼ を押し、次に MODE/ENTER を押します。リモコンで**ソース選択キー**を押すことができます。
信号が検出されたら、選択したソース情報が画面に数秒間表示されます。プロジェクタに複数の装置が接続されている場合は、ステップ 1 ～ 2 を繰り返すと別の信号を検出することができます。

☞
- **入力信号を変えると、そのたびに投写画像の輝度も変わります。通常ほとんどが静止画を使ったデータ (グラフィック) PC プレゼンテーションは、ほとんどが動画 (ムービー) のビデオよりも明るくなります。**
- **入力信号の種類によって、ピクチャ モードで有効なオプションが変わります。詳細は、31 ページの「ピクチャ モードの選択」を参照してください。**
- **このプロジェクタの最高ディスプレイ解像度は、縦横比 16 : 9 です。最高の画質を得るには、この解像度で出力できる入力信号を選択、使用する必要があります。これ以外の解像度を使用すると、縦横比の設定によってプロジェクタが画像の縦横比を変更してしまうため、画像が歪んだり、鮮明さが失われたりします。詳細は、29 ページの「縦横比の選択」を参照してください。**

カラースペースの変更

プロジェクターの HDMI 入力によってプロジェクターを DVD プレーヤーに接続した際に、画像の色が正しく投影されない場合が稀にあります。その際は、色域を YUV に変更してください。

1. MENU/EXIT を押して、◀ /▶ メニューが表示されるまで表示 を押してください。
2. ▼ を押してソースを選択し、次に MODE/ENTER を押してください。
3. ▼ を押して、カラースペース転換を選択し、次に ◀ /▶ を押して適切な色空間を選択してください。

☞ **この機能は HDMI 入力ポートが使用されている場合のみ有効です。**

詳細の拡大と検索

投射画像の詳細を見たい場合は、画像を拡大してください。画像をナビゲートするには、方向矢印キーをお使いください。

- OSD メニューの使用方法

1. MENU/EXIT を押して、◀ /▶メニューが表示されるまで表示 を押してください。
2. ▼を押してデジタル ズームを選択し、次に MODE/ENTER を押してください。するとズームバーが表示されます。
3. プロジェクタの ▲ を押して画像を任意のサイズに拡大します。
4. 画像をナビゲートするには、MODE/ENTER を押してパンモードに切り替えて、プロジェクタかリモコンの方向矢印 (▲、▼ 、◀ 、▶) ボタンを使用します。
5. プロジェクタかリモコンの方向矢印 (▲、▼ 、◀ 、▶) を使って、画像をナビゲートします。
6. 画像サイズを縮小するには、MODE/ENTER を押してズームイン / アウト機能に戻ります。AUTO を押すと、元のサイズに復元されます。または元のサイズに戻るまで ▼ を押す方法もあります。

☞ **画像は拡大された後でなければナビゲートすることはできません。詳細を検索しながら、画像をさらに拡大することができます。**

縦横比の選択

「縦横比」とは、イメージの幅と高さの比率のことです。ほとんどのアナログ TV とコンピュータの画面の縦横比率は 4:3 です。これはこのプロジェクタのデフォルト値に設定されています。デジタル TV や DVD の場合は 16:9 です。

デジタル信号処理能力が進化するにつれ、このプロジェクタのようなデジタル ディスプレイ装置はイメージ出力をイメージ入力信号とは異なるアスペクトにまで拡張できるようになりました。

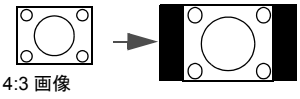
投写画像の比率を変更する (ソースの縦横比に関係なく) :

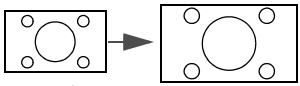
1. MENU/EXIT を押して、◀ /▶ メニューが表示されるまで表示 を押してください。
2. ▼ 縦横比を選択します。
3. ◀/▶ を押して、ビデオ信号のフォーマットとディスプレイの条件に合わせて適切な縦横比を選択してください。

縦横比について

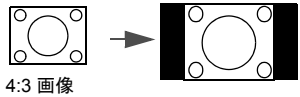
☞ **下の図では黒い部分が無効になったエリアで、白い部分が有効なエリアです。未使用の黒いエリアには OSD メニューを表示することができます。**

1. 自動 : 縦・横の幅においてプロジェクターの元の解像度に適応するよう、画像を比例的にサイズ変更します。このモードは、入力画像が 4:3 か 16:9 のとき、画像の縦横比を変更せずにスクリーンを有効に使用したいときに便利です。

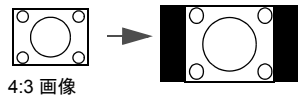




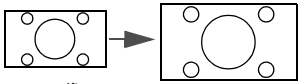
2. リアル : 画像はその本来の解像度で投写され、表示エリアに合わせてリサイズされます。低解像度の入力信号では、投写画像はフルスクリーンサイズにリサイズした場合よりも小さいサイズで表示されます。ズーム倍率を調整するか、プロジェクタをスクリーンに近づけると画像サイズを拡大することができます。このような調整を行った後は、プロジェクタのフォーカスを調整し直す必要があるかもしれません。



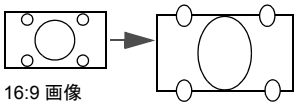
3. 4:3: スクリーンの中央が 4:3 の縦横比になるようにイメージを調整します。これは縦横比を変更せずにすむため、コンピュータモニタ、標準精度の TV、縦横比 4:3 の DVD ムービーなどの 4:3 画像に適しています。

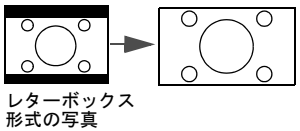


4. 16:9: スクリーンの中央が 16:9 の縦横比になるようにイメージを調整します。この設定は、縦横比を変更する必要がないため高精度 TV など、すでに縦横比が 16:9 になっている画像に適しています。



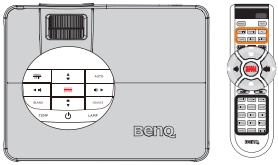
5. レターボックス : プロジェクタの下の縦横比が保存されるように画像のサイズを調整します。プロジェクタのネイティブ解像度に準拠しない入力信号の場合、画像が存在しない場所にサイズ未変更のままの、黒い境界線の付いた完全画像が表示されます。





画像の最適化

ピクチャ モードの選択



このプロジェクタは操作環境や入力信号の画像タイプによって自由に選択できるように、いくつかのピクチャ モードが設定されています。

用途に合った操作モードを選択するには、次のいずれかの手順にしたがってください。

- 任意のモードが選択されるまで、リモコンかプロジェクタの MODE/ENTER を押します。
- ピクチャピクチャ 基本 > ピクチャ モード メニューに進み、◀ /▶ を選択して任意のモードを選択します。

画像モードは以下の通りです。

1. ダイナミック **モード**: 画像の輝度を最大限明るくします。このモードは、輝度を最高に明るくする必要がある環境に適しています (プロジェクタを明るい部屋で使用する場合など)。
2. 標準 **モード**: プレゼンテーションに向いています。このモードでは輝度に重点を置いています。
3. シネマ **モード**: このモードはやや暗めの部屋で、PC 入力を介してデジタルカメラや DV からカラームービーやビデオクリップを再生するのに適しています。
4. ユーザー設定 1 / ユーザー設定 2/ ユーザー設定 3 **モード**: 現在有効なピクチャ モードを元にカスタマイズした設定を呼び出します。詳細は、31 ページの「ユーザー設定 1 / ユーザー設定 2/ ユーザー設定 3 モードの設定」を参照してください。

ユーザー設定 1 / ユーザー設定 2/ ユーザー設定 3 モードの設定

現在有効なピクチャ モードが目的に合致しない場合は、2 種類のモードをユーザー定義することができます。ピクチャモードの 1 つ (ユーザー設定 1 / ユーザー設定 2/ ユーザー設定 3 以外) をスターティングポイントとして使用し、そこから設定をカスタマイズすることができます。

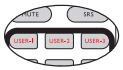
1. オンスクリーンメニューで MENU/EXIT を押してください。
2. ピクチャピクチャ 基本メニューに進みます。基本 > ピクチャ モードメニュー
3. ◀ /▶ を押して、ユーザー設定 1 / ユーザー設定 2/ ユーザー設定 3 を選択します。
4. ▼ リファレンス モードを選択します。

この機能は、ピクチャ モードサブメニューアイテムでユーザー設定 1 / ユーザー設定 2/ ユーザー設定 3 モードが選択されていなければ使用できません。

5. ◀ /▶ を押して、用途に最も合ったピクチャモードを選択してください。
6. ▼ を押して変更したいサブメニューアイテムを選択し、◀ /▶ を使って値を調整します。詳細は、" 画質の微調整 " を参照してください。
7. すべての設定が完了したら、設定の保存を選択し、MODE/ENTER を押して設定を保存してください。

8. ' 設定保存済み ' という確認メッセージが表示されます。

ユーザー設定 1 / ユーザー設定 2/User 3 機能には、リモコンのユーザー 1/ ユーザー 2/ ユーザー 3 を押してアクセスすることもできます。



画質の微調整

選択した写真モードにかかわらず、すべてのプレゼンテーション目的に合うようにこれらの設定を微調整できます。OSD メニューを終了すると、これらの設定はプリセットモードに保存されます。ピクチャピクチャ 基本メニューを選択し、▼ を押して変更するサブメニューアイテムを選択し、プロジェクタまたはリモコンの ◀ / ▶ を押して値を調整します。

調整 輝度

値を高くするほどイメージの輝度が増加します。設定値が低くなるにつれ、画像は暗くなります。このコントロールを調整すると、イメージの黒い領域が黒く表示されるため、暗い領域の詳細が見えるようになります。



調整 コントラスト

値を高くするほどコントラストが増加します。選択した入力と表示環境に合わせて輝度を調整した後、これを使って白のピークレベルを輝度設定することができます。



調整 色

設定を下げると、彩度が低くなります。逆に値を上げすぎると、画像の色が不自然に強調されてしまいます。

調整 色調

値を高くするほど赤みがかった画像になります。値を低くするほど緑がかった画像になります。

調整 シャープネス

値を高くするほど画像がシャープになります。値を低くするほど画像が柔らかくなります。

フレッシュトーンの調整

この機能は正確な原色を調整し、優れた色彩度で自然に見えるフレッシュトーンが表示されます。

リモコンの輝度、コントラスト、シャープネス、色、色調を押して明るさ、コントラスト、シャープネス、色、色調機能にアクセスすることもできます。



詳細な画質コントロール

ピクチャ 詳細メニューには、お好みに合わせて調整できるより詳細な機能があります。設定を保存するには、MENU/EXIT を押して OSD メニューを終了します。

透明度コントロールの調整

ピクチャ 詳細メニューで透明度コントロールを選択し、MODE/ENTER を押して透明度コントロールページに入ります。

設定を調整するには：

1. ノイズ低減 : さまざまなメディアプレーヤーによって引き起こされる電気的画像ノイズを低減します。設定を高くすると、ノイズは少なくなります。
   ノイズ低減を選択し、◀ /▶ を押して値を 0 ～ 15 の範囲で調整します。
2. 詳細強化 : 画像をシャープにします。設定を高くすると、画像は細部まではっきり表示されます。
   詳細強化を選択し、◀ /▶ を押して画像がはっきり見えるように値を 0 ～ 10 の範囲で調整します。

色温度の選択

色温度メニューで ピクチャ 詳細を選択し、プロジェクタかリモコンで ◀ /▶ を押して値を調整します。

ウォーマー / 暖色 / ノーマル / 寒色 / クーラーから任意の色温度を選択します。

*** 色温度について：**

用途に応じて「白」とみなされる色合いが多数存在します。白色を表すためによく使用される方法の 1 つに「色温度」があります。色温度の低い白色は赤みがかった白で表示されます。色温度の高い白色は青みがかって表示されます。

色温度の微調整

ピクチャ 詳細メニューで 色温度微調整を選択し、MODE/ENTER を押します。

設定を調整するには：

1. 色温度コントロール : R/G/B 色を調整します。
   色温度コントロールを選択し、任意の色温度コントロール範囲を選択します。R 色 : 5 ～ 195/ G 色 : 5 ～ 195/ B 色 : 5~195.
2. ホワイトバランス : R/G/B 利得と R/G/B バイアスを調整します。
   ホワイトバランスを選択し、任意のホワイトバランス範囲を選択します。R 利得 : -50 ～ 50/ G 利得 : -50 ～ 50/ B 利得 : -50 ～ 50/ R バイアス : -50 ～ 50/ G バイアス : -50 ～ 50/ B バイアス : -50~50.

ガンマ選択の選択

ピクチャ 詳細メニューでガンマ選択を選択し、プロジェクタかリモコンで ◀ /▶ を押してモードを選択します。

デフォルト /1.6/1.8/2.0/2.2/2.4/2.6/2.8 から任意のガンマモードを選択します。

ガンマ補正により、画像の光度（輝度）がソースに近づくように調整できます。

調整 Brilliant Color

ピクチャ 詳細メニューで Brilliant Color を選択し、プロジェクタかリモコンで ◀ / ▶ を押してモードを選択します。

この機能は新しい色処理アルゴリズムとシステムレベルでの向上を利用して、よりリアルで鮮やかな色を提供すると共に、明るさをより高めることができます。ビデオや自然のシーンでよく見られる中間調イメージであれば、50% 以上も輝度を上げることができますので、リアルで自然な色を再現することが可能です。高

画質イメージを表示したい場合は、オンを選択してください そうでない場合は、オフを選択してください。

オンはこのプロジェクタのデフォルト値であり、推奨する選択値です。オフに設定されている場合は、色温度機能は使用できません。

リモコンの色温度、ガンマ、Brilliant Color を押して、リモコンの色温度、ガンマ、Brilliant Color 機能にアクセスすることもできます。



白ピークの選択

白ピークメニューで ピクチャ 詳細を選択し、プロジェクタかリモコンで ◀ /▶ を押して値を調整します。

この調整可能なアイテムは新しい色処理アルゴリズムとシステムレベルでの向上を利用して、よりリアルで鮮やかな色を提供すると共に、明るさをより高めることができます。範囲は 1 ～ 3 の間です。画像をより高い品質で再現したい場合、最大設定に近づけて調整します。より滑らかで、自然な画像にするには、最小設定に近づけて調整します。

3D カラーマネージメント

教室、会議室、ラウンジなど照明が常にオンになっている場所や、外窓から日光が差し込む部屋など、ほとんどの状況ではカラーマネージメントは必要ありません。

重役会議室、レクチャシアター、ホームシアターなど、照明レベルを調整できる場所に設置した場合に限り、カラーマネージメントが必要となります。適切なカラーマネージメントは、操作および管理された状況でのみ行うことがで きます。

適切なカラーマネージメントは、操作および管理された状況でのみ行うことができます。この場合、色を測定するために色彩計を使用する必要があり、いくつかの適切なソース画像が必要です。これらのツールはプロジェクタには付いていませんが、販売店や経験豊富な技術者にお尋ねになると入手できるはずです。

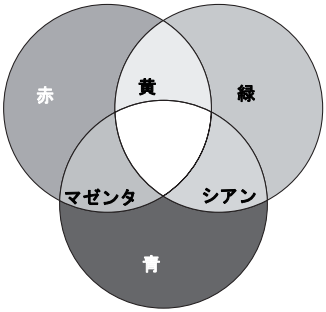
カラーマネージメントでは、6 色 (RGBCMY) を調整することができます。それぞれの色を選択すると、その色の範囲と彩度を個別に自在に調整することができます。

さまざまな色テストパターンが含まれたテストディスクを購入された場合は、モニタ、TV、プロジェクタなどでの色表示をテストすることができます。ディスクに保管された画像ならどれでもスクリーンに投写することが可能であり、3D カラーマネージメント メニューで調整することができます。

設定を調整するには :

1. ピクチャ 詳細 メニューに進み、3D カラーマネージメント を選択します。
2. MODE/ENTER を押すと、3D カラーマネージメントページが表示されます。
3. 原色を選択し、◀ /▶ を押して赤、黄、緑、シアン、青、マゼンタの中から色を選択します。
4. ▼ を押して、色相を選択し、次に◀ /▶ を押してその範囲を選択してください。範囲を広げると、それに隣り合う 2 つの色も含まれます。

各色がどのように関連し合っているかについては、右図を参照してください。
例えば、赤を選択し、その範囲を 0 に設定した場合、投写画像の中で純粋な赤だけが選択されます。範囲を広げると、黄に近い赤やマゼンタに近い赤も含まれます。



5. ▼ を押して 彩度 を選択し、◀ /▶ を押して任意の値に設定してください。調整した値は直ちに画像に反映されます。
例えば、赤を選択し、その範囲を 0 に設定した場合、純粋な赤の彩度だけが影響を受けます。

彩度とはビデオ映像の色の量のことです。値を低くすると彩度が低くなります。「0」に設定すると、画像から完全に色を抜いてしまいます。彩度が高すぎると、色が濃すぎて非現実的な色になってしまいます。

6. ▼ を押してゲインを選択し、◀ /▶ を押して任意の値に設定してください。これによって選択する原色のコントラストレベルが影響を受けます。調整した値は直ちに画像に反映されます。
7. 他のカラー調整も行う場合は、ステップ 3～6 を繰り替えしてください。
8. すべて調整が完了したことを確認してください。
9. MENU/EXIT を押してメニューを終了し、設定を保存します。

フィルムモードの選択

ピクチャ 詳細メニューでフィルムモードを選択し、プロジェクタかリモコンで ◀ /▶ を押して値を調整します。

オンはこのプロジェクタのデフォルト値であり、推奨する選択値です。オフに設定されている場合は、フィルムモード機能は使用できません。

この機能は NTSC 規格が選択され、またはビデオまたは S ビデオが選択されている場合にのみ使用可能となります。

3D コンボフィルタの選択

ピクチャ 詳細メニューで 3D コンボフィルタを選択し、プロジェクタかリモコンで ◀ /▶ を押して値を調整します。

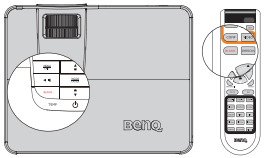
3D コンボフィルタは Y と S 信号を分離し、3 本の連続する水平スキャン線を同時に処理します。単一のビデオ形式内で 3 本の連続水平スキャン線を比較することで、各フレームを前もって分析し、実現しうる最高の写真を表示することも可能です。

オンはこのプロジェクタのデフォルト値であり、推奨する選択値です。オフに設定されている場合は、3D コンボフィルタ機能は使用できません。

この機能は NTSC 規格が選択され、またはビデオまたは S ビデオが選択されている場合にのみ使用可能となります。

画像を隠す

プロジェクタかリモコンの BLANK を使用するとスクリーンの画像が消えるため、聴衆の関心をすべて講演者に向けることができます。プロジェクターまたはリモコンのいずれかのキーを押し、画像を復元します。画像が非表示の間は、スクリーンに「BLANK」と表示されます。オーディオ入力が接続されている間にこの機能を有効にした場合、オーディオは停止しません。



システム設定 > 操作設定 > 画面オフタイマーメニューで、一定時間消画スクリーン状態で何もしなかった場合に、自動的に画像が戻るように消画の時間を設定することができます。時間の長さは 5 分から 30 分の間で 5 分間隔で設定することができます。

⚠ **投影しているプロジェクションレンズを塞がないでください。塞いでいる物体が高熱となる恐れがあります。**

スリープタイマの設定

指定した時間操作されない場合（信号には関係なく）プロジェクタの電源がオフになるように、スリープタイマ間隔を設定できます。

無効 /30 分 /1 時間 /2 時間 /3 時間 /4 時間 /8 時間 / 12 時間からシステム設定 > 操作設定 > スリープ タイマーでスリープタイマを設定します。

画像の静止

リモコンの FREEZE 押すと画像が静止します。スクリーンに「FREEZE」と表示されます。この機能を解除するには、プロジェクタかリモコンでどれでもキーを押してください。



スクリーン上でイメージが静止しても、ビデオやその他の装置で映像は流れ続けています。接続した装置に有効なオーディオが含まれている場合は、画像が静止しても音声は聞くことができます。

高地での操作

標高 1500 m -3000 m 地点、また周囲気温が 0ºC-35ºC の環境で使用する際は、高地対応モードの使用を推奨いたします。

⚠ **標高が 0 m-1500 m で周囲気温が 0 °C-35 °C の環境で使用する際には、高地対応モードは使用しないでください。このような条件でこのモードを使用すると、プロジェクターが過度に低温化されます。**

高地対応モードに設定するには：

1. MENU/EXIT を押して、◀ /▶ メニューが表示されるまでシステム設定 を押してください。
2. ▼ を押して、高地対応モードを選択し、次に ◀ /▶ を押して オン を選択してください。確認のメッセージが表示されます。
3. はいを選択し、MODE/ENTER を押します。

高地対応モードを選択した場合は、システムの性能を維持するために冷却ファンが回転速度を速めるために操作ノイズが高くなる場合があります。

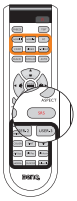
上記の場合を除き、その他の極限環境でプロジェクタを使用すると、プロジェクタが自動的にシャットダウンする場合があります。これはプロジェクタを過熱か

ら保護するために設置された機能です。このような場合は、高地対応モードに切り替えてみてください。これは、このプロジェクタが極限状態でも操作可能であるということを保証するものではありません。

音声の調節

下のような音声調節はプロジェクターのスピーカーに変化を与えます。プロジェクターのオーディオ入力が正しく接続されているよう確認してください。オーディオ入力の接続については 19 ページの「接続」を参照してください。

SRS のオン / オフの切り替え



- リモートコントロールの使用

SRS を押して、SRS サラウンドサウンド効果をオンにします。

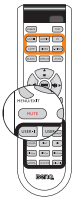
SRS サラウンドサウンド効果をキャンセルするには、SRS をもう一度押します。

- OSD メニューの使用方法

1. MENU/EXIT を押して、◀ /▶ メニューが表示されるまでオーディオ設定 を押してください。
2. ▼ を押して、SRS を選択し、次に◀ /▶ を押してオン / オフを選択してください。

音声のミュート

一時的に音声を停止するには :



- リモートコントロールの使用

MUTE を押して、一時的に音声を停止します。

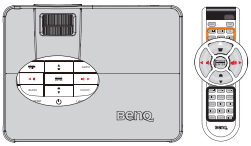
音声を復元するには、MUTE をもう一度押します。

- OSD メニューの使用方法

1. MENU/EXIT を押して、◀ /▶ メニューが表示されるまでオーディオ設定 を押してください。
2. ▼ を押して、MUTE を選択し、次に ◀ /▶ を押して オン を選択してください。
3. 音声を復元するには、ステップ 1 から 2 を繰り返して◀ /▶ を押しオフを選択します。

音声レベルを調節

音声レベルを調節するには、



- リモートコントロールの使用

または を押し、ご希望の音声レベル選択します。

- OSD メニューの使用方法

1. MENU/EXIT を押して、◀ /▶ メニューが表示されるまでオーディオ設定 を押してください。
2. ▼ を押して音量を選択し、◀ /▶ を押してご希望の音声レベルを選択します。

高音レベルを調節

高音レベルを調節するには、

1. MENU/EXIT を押して、◀ /▶ メニューが表示されるまでオーディオ設定 を押してください。
2. ▼ を押して高音を選択し、◀ /▶ を押してご希望の高音レベルを選択します。

☞ **ミュートがオンになっているときに高音を調整すると、ミュート機能は自動的にオフになります。**

低音レベルを調節

低音レベルを調節するには、

1. MENU/EXIT を押して、◀ /▶ メニューが表示されるまでオーディオ設定 を押してください。
2. ▼ を押して低音を選択し、◀ /▶ を押してご希望の低音レベルを選択します。

☞ **ミュートがオンになっているときに低音を調整すると、ミュート機能は自動的にオフになります。**

電源オン / オフ音をオンにする

1. 上記のステップ 1 を繰り返します。
2. ▼ を押して、電源オン / オフ リングトーンを選択し、次に ◀ /▶ を押して オン を選択してください。

☞ **電源オン / オフ音 を変更する方法は、ここでオンまたはオフに設定する方法のみです。音声をミュートしたり、音量を変更したりしても、電源オン / オフ音には影響しません。**

複数の画像ソースを同時に表示する

プロジェクタは 2 つの入力ソースから写真を同時に表示することが可能です。この機能はプレゼンテーションを興味を引くように強調するために使用できます。表示する信号がプロジェクタに正しく接続されていることを確認します。

PIP ウィンドウを表示するには :

• リモートコントロールの使用



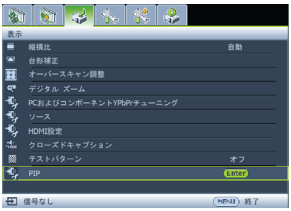
PIP を押して PIP ページを表示し、以下の「OSD メニューの使用」セクションのステップ 3 から始まるステップに従って調整を行います。

PIP ウィンドウがオンになっているとき、PIP ウィンドウサイズを変更するには、ご希望のサイズが選択されるまで PIP サイズを繰り返し押します。

PIP ウィンドウがオンになっているとき、PIP ウィンドウ位置を変更するには、ご希望の位置が選択されるまで PIP 位置を繰り返し押します。

PIP ウィンドがオンになっているとき、ソースの 1 つを選択して調整を行うには、ソースが選択されるまで PIP アクティブを繰り返し押します。

• OSD メニューの使用方法



1. MENU/EXIT を押して、◀ /▶ メニューが表示されるまで表示 を押してください。
2. ▼ を押して PIP を選択し、次に **MODE/ ENTER** を押してください。PIP ページが表示されます。
3. PIP を選択し、◀ /▶ を押して オンを選択します。

現在アクティブな 2 つの信号をプロジェクタで選択して表示すすると、最後に表示された写真がメインソースとして大きなスクリーンに表示されます。



PIP 機能は以下のソース組み合わせで有効になります。

	ソース 2	
ソース 1	HDMI 1	HDMI 2
コンポーネント	V	V
PC	V	V
ビデオ	V	V
S-Video	V	V

4. メインソースまたは第 2 ソースを変更するには、▼ を押してメインソースまたは第 2 ソースを選択するか、◀ /▶ を使用してメイン（大きい）または第 2（小さい）ウィンドウ用に表示するソースを選択します。
5. OSD 設定を 2 つのソース（メインまたは第 2）のどちらかにするには、アクティブウィンドウを選択し ◀ /▶ を押して調整を行うソースを選択します。

OSD メニューで行った設定は、アクティブなウィンドウでのみ有効になります。次の OSD メニュー機能は、PIP のアクティブなウィンドウで作動しません。クイック自動検索。

6. 小さい写真の位置を変更するには、位置を選択し、適切な位置が選択されるまで ◀ /▶ を繰り返し押します。
7. 小さい写真のサイズを変更するには、サイズをハイライトして ◀ /▶ を押し小または大の間で PIP サイズを設定します。
8. OSD メニューを終了するには、メニューが消えるまで MENU/EXIT を繰り返し押します。

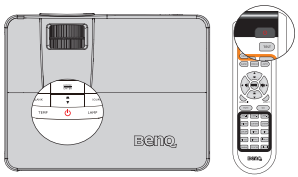
プロジェクタのメニューディスプレイのカスタマイズ

オンスクリーン ディスプレイ (OSD) メニューは自由に変えることができます。次の設定は投射設定、操作、性能には影響しません。

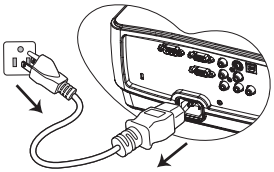
- システム設定 > メニュー設定 メニューの メニュー表示時間 では、最後にキーを押してからの OSD の表示時間を設定します。設定は 5 秒毎に 5 から 30 秒までの範囲で設定できます。◀ /▶ を使って適切な時間を選択してください。
- システム設定 > メニュー設定メニューの メニュー位置 で、OSD の位置を 5 つの位置に設定します。◀ /▶ を使って任意の位置を選択してください。
- 言語メニューのシステム設定で OSD メニューの言語を設定します。◀ /▶ を使って言語を選択してください。

プロジェクタの終了

1. ⏻ Power (電源) を押すと、確認を促すメッセージが表示されます。
   数秒以内に応答しなければ、メッセージは自動的に消えます。



2. 再び ⏻ Power (電源) を押してください。**POWER (電源インジケータ ライト)** が赤に点滅して投写ランプが消灯した後、プロジェクタを冷却するためにファンが約 90 秒間動作を続けます。



⚠ • **ランプを保護するため、冷却プロセスの間はプロジェクタはいかなるコマンドにも反応しません。**

3. 冷却が完了すると、**POWER (電源インジケータ ライト)** が赤に点灯し、ファンが停止します。
4. プロジェクターを長期にわたり使用しない場合は、電源コードをコンセントから抜いてください。

☞ • **プロジェクターが適切にシャットダウンしない場合、プロジェクターを再起動する際にランプを保護するため、数分間にわたって冷却のためにファンが作動します。ファンが停止したら再び Power (電源) を押してプロジェクタを起動してください。このとき POWER (電源インジケータ ライト) が赤に点灯します。**

• **実際のランプの寿命は環境条件および使用率により異なります。**

メニューの操作

メニュー システム

OSD メニューは、選択した信号のタイプにより異なります。

メインメニュー	サブメニュー	オプション	
1. ピクチャピクチャ 基本	ピクチャ モード	ダイナミック / 標準 / シネマ /ISF Day**(W1200 専用)**/ ISF Night**(W1200 専用)**/ ユーザー設定 1 / ユーザー設定 2/ ユーザー設定 3	
	リファレンス モード	ダイナミック / 標準 / シネマ	
	輝度		
	コントラスト		
	色		
	色調		
	シャープネス		
	フレッシュトーン		
	設定の保存		
	写真設定のリセット		
2. ピクチャ 詳細	透明度コントロール		ノイズ低減 / 詳細強化
	色温度		ウォーマー / 暖色 / ノーマル / 寒色 / クーラー
	色温度微調整	色温度コントロール	R カラー /G カラー /B カラー
		ホワイトバランス	R 利得 /G 利得 /B 利得 /R バイアス /G バイアス /B バイアス
	ガンマ選択		デフォルト /1.6/1.8/2.0/2.2/2.4/2.6/2.8
	Brilliant Color		オン / オフ
	白ピーク		
	3D カラーマネージメント	原色	R/G/B/Y/C/M
		色相	
		彩度	
		ゲイン	
	フィルムモード		オン / オフ
	3D コンボフィルタ		オン / オフ
	ISF **(W1200 専用)**		

3. 表示	**縦横比**		自動 /16:9/4:3/ レターボックス / リアル
	台形補正	自動台形補正	オン / オフ
		台形補正	
	オーバースキャン調整	オーバースキャン	
		電流ごとに保存	
	デジタル ズーム		
	PC およびコンポーネント YPbPr チューニング		自動 / 水平サイズ / 位相 / 水平位置 / 垂直位置 /SOG レベル
	ソース	クイック自動検索	オン / オフ
		カラースペース転換	自動 /RGB/YUV
	HDMI 設定	HDMI 形式	自動 /PC 信号 / ビデオ信号
		HDMI 増幅器利得	
	クローズドキャプション	クローズドキャプション有効	オフ / オン
		キャプションバージョン	CC1/CC2/CC3/CC4
	テストパターン		オフ / オン
	PIP	PIP	オン / オフ
		メインソース	HDMI 1/HDMI 2/ ビデオ /S ビデオ / コンポーネント /PC
		第 2 ソース	
		アクティブウィンドウ	メインソース /PIP
		位置	右上 / 左下 / 右下 / 左上
		サイズ	大 / 小
	Frame Interpolation (W1200 専用)		
4. オーディオ設定	**SRS**		オン / オフ
	ミュート		オフ / オン
	音量		
	高音		
	低音		
	電源オン / オフリングトーン		オン / オフ

5. **システム設定**	**言語**		English/ Français/ Deutsch/ Italiano/ Español/ **Русский** / 繁體中文/ 简体中文/ 日本語/ 한국어/ Svenska/ Nederlands/ Türkçe/ Čeština/ Português/ ไปรตุเกส/ Polski Magyar/ Hrvatski/ Română/ Norsk/ Dansk/ Български / Suomi / Ελληνικά Bahasa Indonesia
	プロジェクタの投写位置		前面投写 / リア投写 / 天井リア投写 / 天井前面投写
	メニュー設定	メニュー表示時間	5 秒 /10 秒 /15 秒 /20 秒 /25 秒 / 30 秒
		メニュー位置	左上 / 右上 / 中央 / 左下 / 右下
	操作設定	ダイレクト電源オン	オン / オフ
		自動パワーオフ	無効 /5 分 /10 分 /15 分 /20 分 /25 分 /30 分
		画面オフタイマー	無効 /5 分 /10 分 /15 分 /20 分 /25 分 /30 分
		スリープ タイマー	無効 /30 分 /1 時間 /2 時間 /3 時間 /4 時間 /8 時間 /12 時間
		背景色	黒 / 青 / 紫
		スプラッシュ スクリーン	BenQ/ 黒 / 青
	スタンバイ設定	モニター出力	オン / オフ
	高地対応モード	オン / オフ	はい / いいえ
	ランプ設定	ランプモード	ノーマル / 省電力
		タイマーのリセット	
		ランプ時間（低）	
	セキュリティ設定	パスワードの変更	
		セキュリティ設定の変更	電源ロック
	ボーレート		2400/4800/9600/14400/19200/ 38400/57600/115200
	LED インジケータ		オン / オフ
	全設定クリア		
6. **情報**	**現在のシステム状態**		• ソース • ピクチャ モード • 解像度 • カラー システム • ランプ時間（低） • ファームウェアバージョン

メニューアイテムはプロジェクタが最低 1 つの有効な信号を検出しなければ有効にはなりません。プロジェクタに装置が接続されていなかったり、信号が何も検出されなければ、限られたメニューアイテムにしかアクセスすることができません。

各メニューの説明

☞ • **特に 44-49 ページの記載を含め、本マニュアルに記載されているデフォルト値は参考情報です。製品の継続的な改善により、プロジェクターによって値が異なる場合があります。**

	機能	説明
1. ピクチャピクチャ 基本メニュー	ピクチャ モード	あらかじめ定義したピクチャモードを利用すると、ご使用のプログラムタイプに最適なプロジェクタの画像を設定することができます。詳細は、31 ページの「ピクチャ モードの選択」を参照してください。
	リファレンス モード	ご希望の画質に最適な画像モードを選択し、さらに下の同ページ上に一覧されたセレクションを基に画像を微調整します。詳細は、31 ページの「ユーザー設定 1 / ユーザー設定 2/ ユーザー設定 3 モードの設定」を参照してください。
	輝度	イメージの輝度を調整します。詳細は、32 ページの「調整 輝度」を参照してください。
	コントラスト	イメージの明るさと暗さの差を調整します。詳細は、32 ページの「調整 コントラスト」を参照してください。
	色	彩度レベル、つまりビデオ画像の各色の量を調整します。詳細は、32 ページの「調整 色」を参照してください。 ☞ **この機能は NTSC 規格が選択され、またはビデオまたは S ビデオが選択されている場合にのみ使用可能となります。**
	色調	画像の赤と緑の色調を調整します。詳細は、32 ページの「調整 色調」を参照してください。 ☞ **この機能は NTSC 規格が選択され、またはビデオまたは S ビデオが選択されている場合にのみ使用可能となります。**
	シャープネス	イメージがシャープまたはソフトになるように調整します。詳細は、32 ページの「調整 シャープネス」を参照してください。 ☞ **この機能は NTSC 規格が選択され、またはビデオまたは S ビデオが選択されている場合にのみ使用可能となります。**
	フレッシュトーン	詳細は、32 ページの「フレッシュトーンの調整」を参照してください。
	設定の保存	ユーザー 1 またはユーザー 2 またはユーザー 3 モードで行った設定を保存します。
	写真設定のリセット	ユーザー 1 またはユーザー 2 またはユーザー 3 モードの写真設定をリセットします。

	機能	説明
2. ピクチャ 詳細メニュー	透明度コントロール	詳細は、32 ページの「透明度コントロールの調整」を参照してください。
	色温度	詳細は、33 ページの「色温度の選択」を参照してください。
	色温度微調整	詳細は、33 ページの「色温度の微調整」を参照してください。
	ガンマ選択	必要とする画質にもっとも適したガンマモードを選択します。 詳細は、33 ページの「ガンマ選択の選択」を参照してください。
	Brilliant Color	露光範囲を拡大するように Brilliant Color 値を調整すると、粒子のない細部までシャープな画像が得られます。 詳細は、33 ページの「調整 Brilliant Color」を参照してください。
	白ピーク	正しい色を維持しつつ、ホワイトピークを調整します。 詳細は、34 ページの「白ピークの選択」を参照してください。
	3D カラーマネージメント	詳細は、34 ページの「3D カラーマネージメント」を参照してください。
	フィルムモード	詳細は、35 ページの「フィルムモードの選択」を参照してください。 ☞ **この機能は NTSC 規格が選択され、またはビデオまたは S ビデオが選択されている場合にのみ使用可能となります。**
	3D コンボフィルタ	詳細は、35 ページの「3D コンボフィルタの選択」を参照してください。 ☞ **この機能は NTSC 規格が選択され、またはビデオまたは S ビデオが選択されている場合にのみ使用可能となります。**
	ISF (W1200 専用)	ISF 較正メニューは保護されたパスワードで、公認された ISF 口径測定器によってのみアクセスできます。ISF（Imaging Science Foundation）社は最適のビデオパフォーマンス用に慎重に作成され、業界で認められた標準を開発し、BenQ ビデオディスプレイデバイスから最適の画質を得るためにこれらの標準を使用する技術者やインストーラのために、トレーニングプログラムを実装しました。従って、セットアップと較正は ISF 認可のインストール技術者によってのみ行うことを推奨します。 ☞ **詳細については、www.imagingscience.com にアクセスするかプロジェクタご購入点にお問い合わせください。**

	機能	説明
3. 表示メニュー	縦横比	入力信号ソースによって、画像の縦横比を設定するオプションは 5 つあります。詳細は、29 ページの「縦横比の選択」を参照してください。
	台形補正	画像のキーストーンを自動または手動で補正します。 詳細は、24 ページの「キーストーンの補正」を参照してください。
	オーバースキャン調整	ビデオ画像のノイズを取り除きます ビデオソースのエッジのビデオエンコードノイズを取り除くには、画像をオーバースキャンします。
	デジタル ズーム	投写画像のサイズを拡大または縮小します。 詳細は、29 ページの「詳細の拡大と検索」を参照してください。
	PC およびコンポーネント YPbPr チューニング	画像のディスプレイデータ周波数、移動、位置を補正し、任意の SOG レベルを自動または手動で選択します。
	ソース	投影用のデフォルトソースを選択します。 詳細は、28 ページの「入力信号の切り替え」を参照してください。
	HDMI 設定	**HDMI 形式** 適切な HDMI 形式を自動または手動で選択します。 **HDMI 増幅器利得** 適切な HDMI 増幅器利得を自動または手動で調整します。
	クローズドキャプション	使用可能であれば、クローズドキャプションテキストを表示するスクリーンを選択します。
	テストパターン	ON（オン）を選択するとこの機能が有効になり、プロジェクタにグリッド テストパターンが表示されます。これはイメージサイズとフォーカスを調整し、投写画像に歪みがないことを確認するのに役立ちます。
	PIP	PIP ウィンドウのオン / オフを切り替えて関連する調整を行います。詳細は、38 ページの「複数の画像ソースを同時に表示する」を参照してください。
	Frame Interpolation (W1200 専用)	この機能により、動き検出 / 動き補正テクノロジーを通して写真の滑らかさと透明度を向上することができます。

	機能	説明
4. オーディオ設定メニュー	SRS	詳細は、37 ページの「SRS のオン / オフの切り替え」を参照してください。
	ミュート	詳細は、37 ページの「音声のミュート」を参照してください。
	音量	詳細は、37 ページの「音声レベルを調節」を参照してください。
	高音	詳細は、37 ページの「高音レベルを調節」を参照してください。
	低音	詳細は、38 ページの「低音レベルを調節」を参照してください。
	電源オン / オフ リングトーン	詳細は、38 ページの「電源オン / オフ音をオンにする」を参照してください。

	機能	説明
5. システム設定メニュー	言語	オンスクリーン メニューの言語を設定します。詳細は、25 ページの「メニューの使用方法」を参照してください。
	プロジェクタの投写位置	プロジェクタは、天井またはスクリーンの背後に設置したり、1 枚あるいは複数のミラーを使用して設置することができます。詳細は、15 ページの「場所の選択」を参照してください。
	メニュー設定	メニュー侮¶時間 最後にキーを押してからの OSD の表示時間を設定します。設定は 5 秒毎に 5 から 30 秒までの範囲で設定できます。 メニュー位置 オン スクリーン ディスプレイ (OSD) メニューをオンにします。
	操作設定	ダイレクト電源オン オンを選択すると機能を有効化します。詳細は、22 ページの「プロジェクタの起動」を参照してください。 自動パワーオフ 指定した時間を経過しても入力信号が検出されないときに、自動的にプロジェクタの電源をオフにします。詳細は、51 ページの「設定 自動パワーオフ」を参照してください。 画面オフタイマー ブランク機能が有効になっているとき、画像をブランクにしておく時間を選択します。ここで設定した時間が経過すると、画像は元に戻ります。詳細は、35 ページの「画像を隠す」を参照してください。 スリープ タイマー 自動的にシャットダウンするまでのタイマーを設定します。タイマーは 30 分から 12 時間までの範囲で設定できます。 背景色 プロジェクタに信号入力がないときに表示される背景色が選択できます。選択肢には以下の 3 つがあります : 黒、青、紫。 スプラッシュ スクリーン プロジェクタ起動時に表示されるロゴ画面を、ユーザーが選択することができます。選択肢には以下の 3 つがあります : BenQ ロゴ、黒いスクリーン、青いスクリーン。
	スタンバイ設定	モニター出力 オン を選択すると、機能が有効になります。スタンバイモードおよび**コンピュータ**ジャックが適切に機器に接続されている場合、プロジェクタは VGA 信号を出力することができます。 ☞ **この機能を有効にすると、スタンバイ時の電力消費量を若干低減することができます。**

	機能	説明
5. システム設定メニュー	高地対応モード	高地で使用する場合の操作モードです。詳細は、36 ページの「高地での操作」を参照してください。
	ランプ設定	ランプモード 詳細は、51 ページの「ランプモードを省電力に設定する」を参照してください。 タイマーのリセット 詳細は、55 ページの「ランプタイマーをリセットします。」を参照してください。 ランプ時間（低） 詳細は、51 ページの「ランプ時間を知るには」を参照してください。
	セキュリティ設定	パスワードの変更 新しいパスワードに変更する前に、現在のパスワードを入力するよう要求されます。 セキュリティ設定の変更 電源ロック 詳細は、26 ページの「プロジェクターを固定する」を参照してください。
	ボーレート	適切な RS-232 ケーブルでプロジェクタをコンピュータに接続し、プロジェクタのファームウェアを更新またはダウンロードできるように、ボーレートはコンピュータと同じ値に設定してください。この機能は専門の技術者用に設けられています。
	LED インジケータ	プロジェクタの使用中に ON（オン）を選択すると、コントロールパネルの機能が有効になり POWER LED（電源 LED）が点灯します。
	全設定クリア	すべての設定を工場出荷時の値に戻します。 ☞ **次の設定は現在の設定値のまま維持されます : PC およびコンポーネント YPbPr チューニング、言語、プロジェクタの位置、高高度モード、セキュリティ設定、ボーレート。**
6. 情報メニュー	現在のシステム状態	ソース 現在の信号ソースを表示します。 ピクチャ モード ピクチャピクチャ 基本メニューで選択したモードを表示します。 解像度 入力信号のネイティブ解像度を表示します。 カラー システム 入力システムの形式として NTSC、PAL、SECAM、RGB のいずれかを表示します。 ランプ時間（低） ランプの使用時間数を表示します。 ファームウェアバージョン ファームウェアバージョンを表示します。

メンテナンス

プロジェクタのお手入れ

ご使用のプロジェクタはほとんどメンテナンスの必要がありません。定期的に必要なことは、レンズとケースのクリーニングです。

ランプ以外はプロジェクタの部品は一切取り外さないでください。ランプ以外の交換が必要な場合は、販売店にご相談ください。

レンズのクリーニング

表面の汚れやほこりが付いていたら、レンズをクリーニングします。

- 圧縮空気スプレーを使用してほこりを取り除きます。
- 汚れやしみが付いた場合は、レンズ クリーニング ペーパーまたはレンズ クリーナで湿らせた柔らかい布でレンズの表面を軽く拭きます。
- 研磨パッド、アルカリ / 酸性洗剤、磨き粉、またはアルコール、ベンジン、シンナー、殺虫剤などの有機溶剤は絶対に使用しないでください。そのような素材の使用あるいはゴムまたはビニール素材との長時間にわたる接触は、プロジェクターの表面およびキャビネット素材の破損を招く恐れがあります。

⚠ **レンズは絶対に研磨剤でこすらないでください。**

プロジェクタケースのクリーニング

ケースのお手入れを行う前に、40 ページの「プロジェクタの終了」に記載されている正しい手順でプロジェクタの電源を切り、電源コードを抜いてください。

- ほこりや汚れを取り除くには、柔らかい、けば立ちのない布で拭きます。
- 落ちにくい汚れやしみを取り除くには、水で薄めた中性洗剤で布を湿らせて、ケースを拭きます。

⚠ **ワックス、アルコール、ベンジン、シンナー、その他の化学洗剤は使用しないでください。こうした薬剤を使用すると、ケースを傷める場合があります。**

プロジェクタの保管

長期間プロジェクタを保管する必要がある場合、次の手順に従ってください。

- 保管場所の温度と湿度が、プロジェクタの推奨範囲内であることを確認します。詳細は、58 ページの「仕様」を参照されるか、販売店にお尋ねください。
- アジャスタフットを格納します。
- リモコンから電池を取り外します。
- プロジェクタを元の梱包または同等の梱包にしまいます。

プロジェクタの移動

プロジェクタを搬送するときは、元の梱包または同等の梱包で行うことを推奨します。

ランプについて

ランプ時間を知るには

プロジェクタが作動している間、プロジェクタに内蔵されたタイマーがランプの使用時間 (時間単位) を自動的に計算します。

☞ **" ランプモードを省電力に設定する " モードについての詳細は、下記の省電力を参照してください。**

ランプ使用時間を知るには :

1. MENU/EXIT を押して、◀/▶メニューが表示されるまで**システム設定** を押してください。
2. ▼を押して**ランプ設定**を選択し、次に MODE/ENTER を押してください。すると **ランプ設定** ページが表示されます。
3. ここでメニューに表示された**ランプ時間（低）**情報を見ることができます。
4. メニューを終了するには、MENU/EXIT を押します。

また**情報**メニューではランプ時間情報を見ることもできます。

ランプをできるだけ長く使用できるようにする

投写用ランプは消耗品です。ランプの寿命をできるだけ長く維持するには、OSD メニューで次の設定を行ってください。

ランプモードを省電力に設定する

省電力モードに設定すると、システムノイズと電力消費量を最高で 20% まで低減することができます。**省電力**モードを有効にすると、出力されるライトが低減され、その結果投写画像が暗くなります。

プロジェクタを**省電力**モードで使用すると、ランプの寿命を延長することができます。**省電力**モードに設定するには、**システム設定** > **ランプ設定** > **ランプモード** メニューに進み、◀/▶を押します。

設定 自動パワーオフ

指定した時間を経過しても入力ソースが検出されないときには、不要にランプの寿命を消耗しないように自動的にプロジェクタの電源をオフにします。

自動パワーオフに設定するには、**システム設定** > **操作設定** > **自動パワーオフ**メニューに進み、◀/▶を押します。タイマーは 5 分おきに 5 分から 30 分の範囲で設定できます。プリセットの時間がこれから行うプレゼンテーションに合わない場合は、**無効**を選択してください。この場合、一定時間が経過してもプロジェクタは自動的にシャットダウンしません。

ランプ交換のタイミング

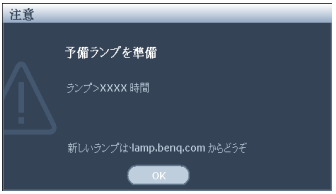
ランプインジケータが赤に点灯した場合、またはランプの交換時期であることを示すメッセージが表示された場合は、新しいランプを取り付けるか、お買い上げの販売店にご相談ください。古いランプを使用すると、プロジェクタの誤動作の原因となり、ランプが破裂することもあります。

交換ランプについては、http://lamp.benq.com に進んでください。

⚠ **ランプの温度が異常に高くなると、LAMP (ランプインジケータ ライト) および TEMP (温度警告ライト) が点灯します。詳細は、56 ページの「インジケータ」を参照してください。**

次のランプ警告が表示されたら、ランプを交換してください。

☞ **以下の警告メッセージは参考情報です。実際のオンスクリーン指示に従いランプを準備し交換してください。**

状態	メッセージ
動作を最適化するために、新しいランプを取り付けてください。プロジェクタが通常**省電力**モードで動作している場合は（51 ページの「ランプモードを省電力に設定する」）、次回ランプ警告メッセージが表示されるまでプロジェクタを使用することができます。 MODE/ENTER を押すとメッセージが閉じます。	
新しいランプに交換しておくと、途中でランプが寿命で切れる不都合を避けられます。 MODE/ENTER を押すとメッセージが閉じます。	
この時点でランプを交換されるよう強くお薦めします。ランプは消費アイテムです。ランプは使用を重ねる毎に明るさが徐々に失われます。これは正常な現象です。ランプが非常に暗くなったら、いつでもランプを交換してください。 MODE/ENTER を押すとメッセージが閉じます。	
プロジェクタを正常に動作させるには、ランプを交換してください。 MODE/ENTER を押すとメッセージが閉じます。	

☞ **上記メッセージ内の「XXXX」には、モデルによって異なる数字が表示されます。**

ランプの交換

- **Hg - ランプには水銀が含まれます。地域の廃棄法に従って管理してください。www.lamprecycle.org をご覧ください。**

- **ランプ交換をプロジェクターが天井から逆様に吊下げられている状態で行う場合、ランプソケットの下が無人であることを確認してください。負傷または割れたランプにより目を負傷する恐れがあります。**

- **感電を防ぐため、ランプを交換する前には必ずプロジェクタの電源をオフにし、電源コードを抜いてください。**

- **重度のやけどを負う危険を防ぐため、ランプを交換する前に、最低でも 45 分間はプロジェクタを冷却してください。**

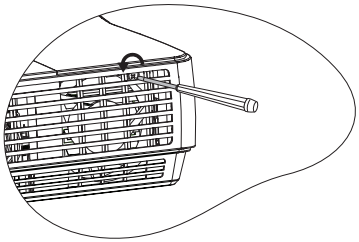
- **割れて鋭くなったランプのガラス片を取り除く場合は、指をけがしたり、内部部品を破損したりしないように、十分注意してください。**

- **指のけがや、レンズに触れることによる画質の劣化を避けるため、ランプを取り外すときに空のランプ ケースには触れないでください。**

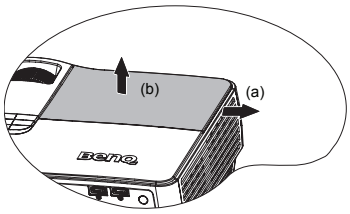
- **このランプの中には水銀が入っています。ランプの処分は、地元の有害廃棄物規制条例にしたがって、正しい方法で行ってください。**

- **プロジェクタを最高の状態でご使用いただくために、交換用ランプとして BenQ プロジェクタ用ランプを購入されることをお薦めします。**

1. 電源をオフにし、プロジェクターをコンセントから抜きます。ランプが高温になっている場合は、やけどを防ぐためにランプを約 45 分間放置して常温に戻してください。
2. ランプカバーを固定しているネジを緩めます。

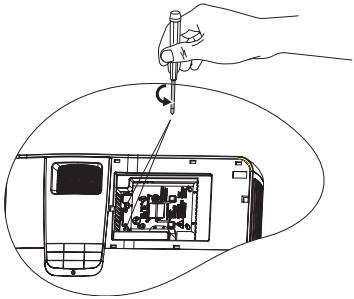


3. ランプカバーを (a) プロジェクターの側面に向かってカバーをスライドし、(b) 持ち上げて、取り外します。

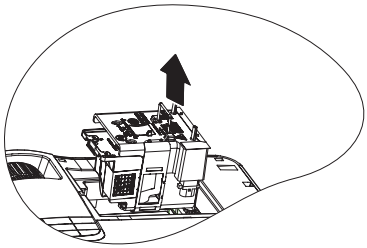


⚠
- **ランプカバーを外したまま、電源を入れないでください。**
- **ランプとプロジェクタの間に指を挿入しないでください。プロジェクタ内部の尖ったパーツによりケガをする場合があります。**

4. ランプを固定しているねじを緩めます。

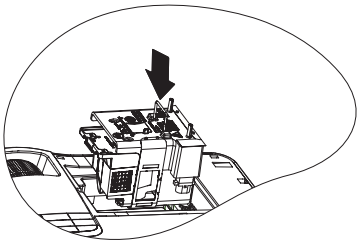


5. ハンドルを上に持ち上げてください。ハンドルを使ってゆっくりとランプをプロジェクタから引き出します。

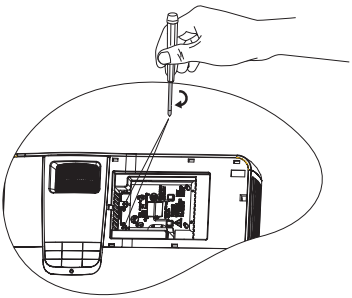


⚠
- **急激に引っ張るとランプが割れ、ガラスの破片がプロジェクタ内に散乱します。**
- **取り出したランプは、水のかかる場所、子供の手が届く場所、可燃物の付近には置かないでください。**
- **ランプを取り外した後は、プロジェクタ内に手を入れないでください。内部の光学部品に手を触れると、投写イメージの色が不均一になり歪む場合があります。**

6. 新しいランプをランプ収納部に挿入し、プロジェクターに適合していることを確認します。



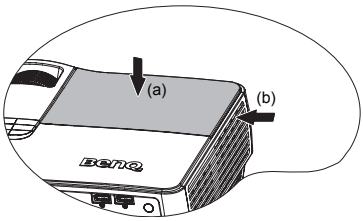
7. ランプを固定しているねじを締めます。



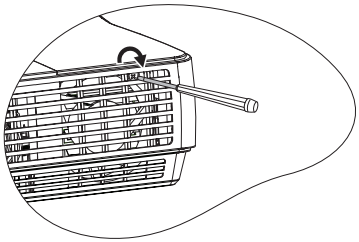
⚠
- **ネジの締め方がゆるいと接触が悪くなり、故障の原因になる場合があります。**
- **ネジを締め過ぎないでください。**

8. ハドルが完全にフラットな状態になっており、ロックされていることを確認してください。

9. ランプカバーを元の位置にスライドして戻します。



10. ランプカバーを固定しているねじを締めます。



⚠
- **ネジの締め方がゆるいと接触が悪くなり、故障の原因になる場合があります。**
- **ネジを締め過ぎないでください。**

11. プロジェクタを再起動してください。

⚠ **ランプカバーを外したまま、電源を入れないでください。**

ランプタイマーをリセットします。

12. スタートアップロゴの次にオンスクリーンメニューが表示されます。**システム設定** > **ランプ設定**メニューに進みます。MODE/ENTER を押します。すると **ランプ設定** ページが表示されます。▼を押して**タイマーのリセット**を選択し、次に MODE/ENTER を押してください。ランプタイマーをリセットしても良いかどうかを確認するためのメッセージが表示されます。**リセット**を選択し、MODE/ENTER を押します。ランプ時間は '0' にリセットされます。



⚠ **ランプを交換していない場合はリセットしないでください。ランプが破損する恐れがあります。**

インジケータ

ライト			状態と説明
POWER	TEMP	LAMP	
電源の状況			
赤	**オフ**	**オフ**	スタンバイ モードです。
薄緑で点滅	**オフ**	**オフ**	電源を入れています。
薄緑	**オフ**	**オフ**	通常動作状態です。
赤く点滅	**オフ**	**オフ**	電源を切った後、プロジェクタは 90 秒間の冷却時間が必要です。
ランプの状況			
オフ	**オフ**	**赤**	プロジェクタが自動的に終了しました。プロジェクタを再起動しようとしても、プロジェクタは再度終了します。販売店にお問い合わせください。
オフ	**オフ**	**赤く点滅**	1. プロジェクタの冷却に 90 秒必要です。**または** 2. 販売店にお問い合わせください。
温度の状況			
オフ	**赤く点滅**	**オフ**	プロジェクタが自動的に終了しました。プロジェクタを再起動しようとしても、プロジェクタは再度終了します。販売店にお問い合わせください。
オフ	**赤**	**オフ**	
赤く点滅	**オフ**	**オフ**	
システムイベント			
オフ	**赤く点滅**	**赤く点滅**	プロジェクタが自動的に終了しました。プロジェクタを再起動しようとしても、プロジェクタは再度終了します。販売店にお問い合わせください。
オフ	**赤**	**赤**	

トラブルシューティング

? プロジェクタの電源がオンにならない。

原因	対応
電源コードから電源が来ていません。	電源コードをプロジェクタの電源コードソケットとコンセントに差し込みます。コンセントにスイッチがある場合は、スイッチがオンになっていることを確認します。
冷却プロセスの間にプロジェクタの電源をオンにしようとしています。	冷却プロセスが完了するまでお待ちください。

? 画像が映らない

原因	対応
ビデオ ソースがオンになっていないか、正しく接続されていません。	ビデオ ソースをオンにし、信号ケーブルが正しく接続されていることを確認します。
プロジェクタが正しく入力信号機器に接続されていません。	接続を確認します。
入力信号が正しく選択されていません。	プロジェクタまたはリモコンの **SOURCE** キーで正しい入力信号を選択します。
レンズカバーが閉じられたままです。	レンズカバーを外してください。

? イメージがぼやける

原因	対応
投写レンズの焦点が合っていません。	ピントリングで焦点を合わせます。
プロジェクタとスクリーンの位置が正しく合っていません。	投写角度および方向、また必要であれば装置の高さを調整します。
レンズカバーが閉じられたままです。	レンズカバーを外してください。

? リモコンが機能しない

原因	対応
電池が切れています。	電池を新しい電池に交換します。
リモコンとプロジェクタの間に障害物があります。	障害物を取り除きます。
プロジェクタからの距離が遠すぎます。	プロジェクタから 8 メートル (26 フィート) 以内の場所に立ちます。

? パスワードが間違っている

原因	対応
入力したパスワードが正しくありません。	詳細は、27 ページの「パスワードの呼び戻しを行うには」を参照してください。

仕様

☞ 仕様はすべて予告なしに変更されることがあります。

光学

解像度
　1920x1080、1080p

表示システム
　1-CHIP DMD

レンズ F/ 番号
　F = 2.41 から 2.91
　f = 20.72 から 31 mm

ランプ
　230 W ランプ

電気仕様

電源
　AC100-240V, 3.70A,
　50-60 Hz (自動)

消費電力
　320 W (最大); < 1 W (スタンバイ)

機械仕様

重量
　3.6 Kg (8 lbs)

出力端末

RGB 出力
　D-Sub 15 ピン (メス) x 1
スピーカー
　10 ワット x 2
オーディオ出力
　3.5mm ジャック x 1
12V トリガ
　3.5mm ジャック x 1

コントロール

RS-232 シリアルコントロール
　9 ピン x 1
USB タイプ B x 1

入力端末

コンピュータ入力
　RGB 入力
　　D-Sub 15 ピン (メス) x 1

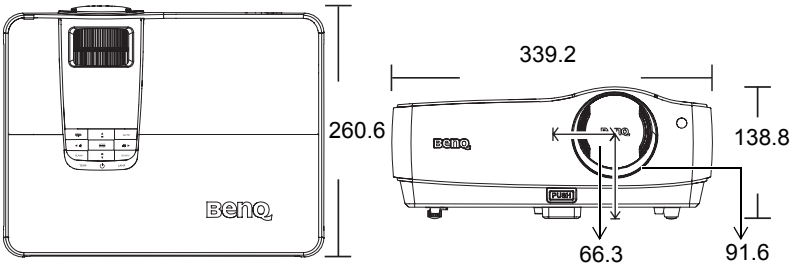
ビデオ信号入力
　HDMI
　　ねじタイプ x 2
　S ビデオ
　　Mini DIN 4 ピンポート x 1
　ビデオ
　　RCA ジャック x 1
SD/HDTV 信号入力
　　コンポーネント RCA ジャック x 3
オーディオ入力
　　PC オーディオジャック x 1
　　RCA ジャック x 2

使用環境条件

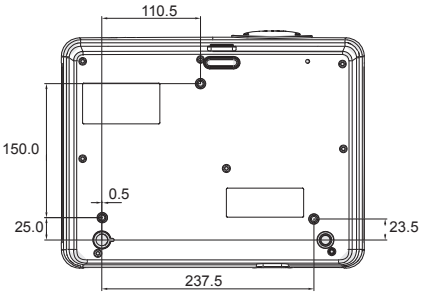
動作温度範囲
　0°C ～ 35°C（海抜ゼロ地点）
操作時の相対湿度
　10%-90% (結露なし)
動作高度
　0 ～ 1499 m（0°C ～ 35°C）
　0°C-30°C にて 1500-3000 m (高地対応モードオンにて)

外形寸法

339.2 mm (W) x 138.8 mm (H) x 260.6 mm (D)

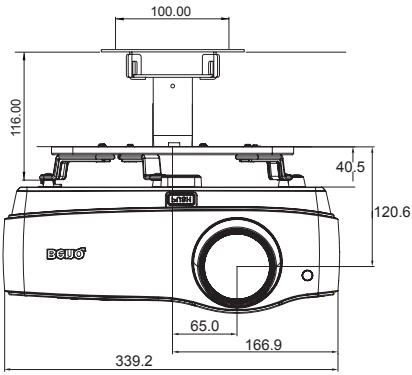


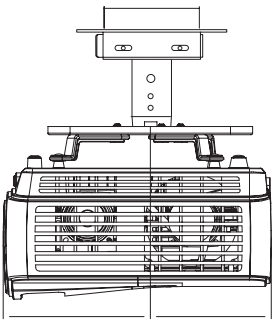
天井取付



天井取付ねじ :
M4 x 8 (最長 = 8 mm)

本体 : mm





タイミングチャート

サポートされる PC 入力のタイミング

解像度	水平周波数 (kHz)	垂直周波数 (Hz)	ピクセル周波数 (MHz)	モード
640 x 480	31.469	59.940	25.175	VGA_60
	37.861	72.809	31.500	VGA_72
	37.500	75.000	31.500	VGA_75
	43.269	85.008	36.000	VGA_85
720 x 400	31.469	70.087	28.3221	720 x 400_70
800 x 600	37.879	60.317	40.000	SVGA_60
	48.077	72.188	50.000	SVGA_72
	46.875	75.000	49.500	SVGA_75
	53.674	85.061	56.250	SVGA_85
1024 x 768	48.363	60.004	65.000	XGA_60
	56.476	70.069	75.000	XGA_70
	60.023	75.029	78.750	XGA_75
	68.667	84.997	94.500	XGA_85
1024 x 576	35.820	60.0	46.966	BenQ
1024 x 600	41.467	64.995	51.419	BenQ
1024 x 600@60Hz	37.32	60.00	48.964	ノートブックタイミング
1280 x 800	49.702	59.810	83.500	WXGA_60
1280 x 1024	62.795	74.934	106.500	WXGA_75
	71.554	84.880	122.500	WXGA_85
	63.981	60.020	108.000	SXGA_60
1280 x 960	79.976	75.025	135.000	SXGA_75
	91.146	85.024	157.500	SXGA_85
	60.000	60.000	108	1280 x 960_60
1440 x 900	85.938	85.002	148.500	1280 x 960_85
	55.935	59.887	106.500	WXGA+_60
1400 x 1050	65.317	59.978	121.750	SXGA+_60
1600 x 1200	75.000	60.000	162.000	UXGA
640 x 480@67Hz	35.000	66.667	30.240	MAC13
832 x 624@75Hz	49.722	74.546	57.280	MAC16
1024 x 768@75Hz	60.241	75.020	80.000	MAC19
1152 x 870@75Hz	68.68	75.06	100.00	MAC21
640 x 480	61.910	119.518	52.500	VGA_120
800 x 600	77.425	119.854	83.000	SVGA_120
1024 x 768	98.958	119.804	137.750	XGA_120
1280 x 800	101.563	119.909	146.250	WXGA_120

HDMI 入力の対応タイミング

解像度	水平周波数 (kHz)	垂直周波数 (Hz)	ピクセル周波数 (MHz)	モード
640 x 480	31.469	59.940	25.175	VGA_60
	37.861	72.809	31.500	VGA_72
	37.500	75.000	31.500	VGA_75
	43.269	85.008	36.000	VGA_85
	61.910	119.518	52.500	VGA_120
720 x 400	31.469	70.087	28.3221	720 x 400_70
800 x 600	35.156	56.250	36.000	SVGA_56
	37.879	60.317	40.000	SVGA_60
	48.077	72.188	50.000	SVGA_72
	46.875	75.000	49.500	SVGA_75
	53.674	85.061	56.250	SVGA_85
	77.425	119.854	83.000	SVGA_120
1024 x 768	48.363	60.004	65.000	XGA_60
	56.476	70.069	75.000	XGA_70
	60.023	75.029	78.750	XGA_75
	68.667	84.997	94.500	XGA_85
	98.958	119.804	137.750	XGA_120
1152 x 864	67.500	75.00	108.000	1152 x 864_75
1280 x 768	47.396	60	68.25	1280 x 768_60
	47.776	59.870	79.5	1280 x 768_60
	60.289	74.893	102.25	1280 x 768_75
	68.633	84.837	117.50	1280 x 768_85
1280 x 800	49.702	59.810	83.500	WXGA_60
	62.795	74.934	106.500	WXGA_75
	71.554	84.880	122.500	WXGA_85
	101.563	119.909	146.250	WXGA_120
1280 x 1024	63.981	60.020	108.000	SXGA_60
	79.976	75.025	135.000	SXGA_75
	91.146	85.024	157.500	SXGA_85
1280 x 960	60.000	60.000	108	1280 x 960_60
	85.938	85.002	148.500	1280 x 960_85
1360 x 768	47.712	60.015	85.500	1360 x 768_60
1440 x 900	55.469	60	88.75	WXGA+_60
	55.935	59.887	106.500	WXGA+_60
	70.635	74.984	136.75	WXGA+_75
	80.430	84.842	157.000	WXGA+_85
1400 x 1050	65.317	59.978	121.750	SXGA+_60
1600 x 1200	75.000	60.000	162.000	UXGA
1680 x 1050	64.674	59.883	119.000	1680 x 1050_60
	65.290	59.954	146.250	1680 x 1050_60
1920 x 1200	74.038	59.950	154.000	1920 x 1200_60
640 x 480@67Hz	35.000	66.667	30.240	MAC13
832 x 624@75Hz	49.722	74.546	57.280	MAC16
1024 x 768@75Hz	60.241	75.020	80.000	MAC19
1152 x 870@75Hz	68.68	75.06	100.00	MAC21
1024 x 576@60Hz	35.820	60.00	46.996	ノートブックタイミング
1024 x 600@60Hz	37.32	60.00	48.964	ノートブックタイミング
1024 x 600@65Hz	41.467	64.995	51.419	ノートブックタイミング

VIDEO (HDCP)	15.73	59.94	27	480i
	15.63	50i	27	576i
	31.47	59.94	27	480p
	31.25	50p	27	576p
	44.96	59.94	74.25	720p60
	37.50	50p	74.25	720p50
	26.97	23.98	74.25	1080/24P
	28.13	25	74.25	1080/25P
	33.72	29.97	74.25	1080/30P
	33.72	59.94	74.25	1080i60
	28.13	50i	74.25	1080i50
	67.43	59.94	148.5	1080p60
	56.25	50p	148.5	1080p50

1080i(1125i)@60Hz または 1080i(1125i)@50Hz 信号を表示すると、イメージが若干揺れる場合があります。

コンポーネント YPbPr 入力用にサポートされているタイミング

信号フォーマット	水平周波数 (kHz)	垂直周波数 (Hz)
480i	15.73	59.94
480p	31.47	59.94
576i	15.63	50.00
576p	31.25	50.00
720/50p	37.5	50.00
720/60p	44.96	59.94
1080/50i	28.125	50
1080/60i	33.72	59.94
1080/24P	26.97	23.98
1080/25P	28.125	25
1080/30P	33.72	29.97
1080/50P	56.25	50
1080/60P	67.43	59.94

ビデオおよび S ビデオ入力用にサポートされているタイミング

ビデオモード	水平周波数 (kHz)	垂直周波数 (Hz)	カラー副搬送波周波数 (MHz)
NTSC	15.73	60	3.58
PAL	15.63	50	4.43
SECAM	15.63	50	4.25 または 4.41
PAL-M	15.73	60	3.58
PAL-N	15.63	50	3.58
PAL-60	15.73	60	4.43
NTSC4.43	15.73	60	4.43

保証と著作権について

W1100/W1200 用特許

本 BenQ プロジェクタは以下の特許により保護されています：

米国特許 6,837,608; 7,275,834; 7,181,318; 台湾特許 202690; 205470; I228635; I259932; 中国特許 (中国发明专利) ZL01143168.7; ZL03119907.0; ZL200510051609.2

限定保証

BenQ は、本製品が正常に使用および保管される場合に限り、本製品の材料および製造上の瑕疵がないことを保証します。

保証を受ける際には、購入日の証明が必要となります。保証期間中に本製品に瑕疵があることが判明した場合、BenQ の全責任と、お客様に対する全面的な補償は、瑕疵のある部品の交換 (工賃を含む) に限られます。保証サービスを受ける場合は、製品を購入した販売店に直ちに連絡してください。

重要：お客様が BenQ の文書による指示に従わずに操作を行った場合はこの保証は無効となります。特に本製品は環境湿度 10% から 90% の間、温度 0ºC から 35ºC の間、高度 4920 フィート以下の環境でご使用になり、ホコリが立ちやすい場所での使用はお止めください。この保証により、お客様には特定の法的権利が与えられます。また、在住している国によっては、お客様にその他の権利が与えられることもあります。

詳細は、弊社ホームページ www.BenQ.com をご覧ください。

著作権

Copyright 2010 by BenQ コーポレーション。All rights reserved. 本書のいかなる部分も、BenQ コーポレーションの事前の書面による同意なく、電子的、機械的、磁気的、光学的、化学的、手動その他の手段を問わず、複製、転載、改変、検索システムへの保存、他言語またはコンピュータ言語への翻訳を行うことはできません。

免責

BenQ コーポレーションは、明示的または暗示的を問わず、本書の内容に関して、特に保証、商業的可能性、特定目的への適合性に関しては、いかなる表明または保証もいたしません。さらに、BenQ コーポレーションは本書を改定する権利と、このような改定や変更についていかなる人物に対しても通知する義務を負うことなく内容を変更できる権利を有しています。

*DLP 、Digital Micromirror Device 、および DMD は、Texas Instruments の商標です。その他の著作権は各社または各組織に帰属します。

法規

FCC 規則

B クラス : 本デバイスはラジオ周波エネルギーを発生、使用し、さらに放射する可能性があり、指示にしたがってインストールおよび使用しなければ、ラジオ通信に有害な障害を与える場合があります。しかしながら、特定の方法で設置すれば障害を発生しないという保証は何もありません。このデバイスがラジオや TV 受信装置に有害な障害を与える場合は（デバイスの電源を一度切って入れなおすことにより確認できます）、障害を取り除くために次の方法にしたがってくだ さい。

- 受信アンテナの方向を変えるか、設置場所を変える
- このデバイスと受信装置の距離をあける
- このデバイスの受信装置とは別のコンセントに接続する
- ディーラーか経験のあるラジオ /TV 技術者に問い合わせる

EEC 規則（欧州ユーザー対象）

本装置は、電磁的環境両立性に関する EMC 指令 (2004/108/EC)、低電圧指令（2006/95/EC）、電気電子機器における特定有害物質使用制限の RoHS 指令（2002/95/EC）、トルコ EEE 指令、家庭・オフィス用電気電子機器のスタンバイ・オフモード時の電力消費に関するエコデザイン要件についての欧州議会および理事会 EuP 指令（2005/32/EC）を実施する欧州委員会規則（No.1275/2008）、およびエネルギー使用製品のエコデザイン要件事項設定のための枠組みを構築する、欧州議会および理事会 ErP 指令（2009/125/EC）に準拠しています。

WEEE 指令

ヨーロッパ共同体における家庭からの電子および電気製品の廃棄について。

本製品または梱包材料に記載されているこの記号は、これを家庭廃棄物として破棄することができないことを意味しています。電子または電気装置の再利用規定に基づいて処理してください。本装置の再利用についての詳しい情報は、m お住まい地域の市役所、本製品を購入された店、または家庭廃棄物処理機関にお問い合わせください。素材の再利用は自然環境の保護に役立つと共に、人類の健康や環境を確実に保護する方法で再利用されます。



1973 年　アクセシビリティ規定リハビリテーション法 第 508 条

BenQ は、利用可能な製品の提供へのコミットメントを通じ、政府の利用可能な技術の選択を支援しています。BenQ の液晶モニタおよびプロジェクタは、以下の補助機能を搭載することで第 508 条の指針に準拠しています :

- BenQ のモニタには色つきの "Power"(電源) インジケータが搭載されています。インジケータが緑の際は、モニタがフル電源を使用していることを表します。インジケータが黄色あるいはオレンジ色の際は、モニタは一時停止中あるいはスリープモードであり、2 ワット以下の電力を消費していることを示しています。
- BenQ のモニタはプログラム済みのちらつき防止タイミング設定を多種搭載しており、モニタに表示された画面を直ちに使用できます。デフォルトのタイミング設定はモニターの電源が入るたびに自動的に作動、ユーザーの介入の手間を省きます。
- BenQ のモニタおよびプロジェクタには輝度およびコントラスト調節のオプションがあり、視覚障害者の必要性に応じて文字や画像の異なる表示が可能です。製品のオンスクリーンディスプレイ (OSD) 制御の使用により、その他の同様の調整が可能です。
- BenQ のモニタおよびプロジェクタでは、色温度の選択などのユーザーによる選択可能な色制御が可能です。(モニタ : 5800K, 6500K, 9300K, プロジェクター : 5500K, 6500K, 7500K, 9300K) 幅広いコントラストのレベルが用意されています。
- BenQ のマルチメディアモニタおよびプロジェクタは、オーディオパフォーマンス用に通常 1 台または 2 台のスピーカを搭載しており、ユーザー（聴覚障害者を含む）による接続コンピュータシステムとの相互伝達が可能です。スピーカーのコントロールは通常フロントパネルに位置しています。
- BenQ のモニタおよびプロジェクタのファームウェアは独自の製品情報を含んでおり、これによりコンピュータシステムが BenQ 製品を認識し、接続時にそのプラグアンドプレイ機能を起動することができます。
- BenQ のモニタおよびプロジェクタはすべて PC99 規格と互換性があります。例えば、コネクタは色別にコード化され、ユーザーが簡単にコンピュータシステムと正しく接続できるようにしています。
- BenQ のモニタおよびプロジェクタのうちいくつかのモデルは、追加の USB および DVI ポートを搭載しており、聴覚障害者の補助用特別ヘッドホンなど、追加機器の接続に対応しています。
- BenQ のモニタおよびプロジェクターにはユーザーマニュアルおよびコンパクトディスクが付属しています。これは接続したコンピュータシステムを使用し Adobe Reader などの一般的な商業ソフトウェアによって容易に読み込むことができます。これらの文書は BenQ のウェブサイト (www.BenQ.com <http://www.BenQ.com>) でもご覧頂けます。その他の書類については、ご要望に応じてご利用いただける場合があります。
- BenQ のカスタマサービスでは、すべてのお客様に対し電話、FAX、電子メール、ウェブサイトにて回答・サポートを提供しています。